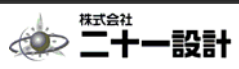


鈴鹿工業高専学生支援センター改修機械設備工事

図面リスト

No	図面番号	図面名	縮尺	No	図面番号	図面名	縮尺
01	M-01	表紙・図面リスト	-	16	M-13	改修後・前 換気設備2階ダクト平面図	A1:1/100 A3:1/200
02	特-01	特記仕様書 (1)	-	17	M-14	改修後・前 換気設備3階ダクト平面図	A1:1/100 A3:1/200
03	特-02	特記仕様書 (2)	-	18	M-15	自動制御設備系統図	-
04	特-03	特記仕様書 (3)・凡例	-	19	M-16	自動制御設備1階平面図	A1:1/100 A3:1/200
05	M-02	構内配置図・案内図	A1:1/1000, NS A3:1/2000, NS	20	M-17	自動制御設備2階平面図	A1:1/100 A3:1/200
06	M-03	改修後 機器表1	-	21	M-18	自動制御設備3階平面図	A1:1/100 A3:1/200
07	M-04	改修後 機器表2・参考断面図・各階平面図	A1:1/100, 1/200, N, S A3:1/200, 1/400, N, S	22	M-19	自動制御設備屋上平面図	A1:1/100 A3:1/200
08	M-05	改修前 機器表	-	23	M-20	改修後・前 機器表・衛生器具表・配管系統図	-
09	M-06	空調配管系統図	-	24	M-21	改修後・前 外構図	A1:1/300 A3:1/600
10	M-07	改修後・前 空調設備1階配管平面図	A1:1/100 A3:1/200	25	M-22	改修後・前 衛生設備1階配管平面図	A1:1/100 A3:1/200
11	M-08	改修後・前 空調設備2階配管平面図	A1:1/100 A3:1/200	26	M-23	改修後・前 衛生設備2階配管平面図	A1:1/100 A3:1/200
12	M-09	改修後・前 空調設備3階配管平面図	A1:1/100 A3:1/200	27	M-24	改修後・前 衛生設備3階配管平面図	A1:1/100 A3:1/200
13	M-10	改修後・前 空調設備屋上配管平面図	A1:1/100 A3:1/200	28	M-25	改修後・前 衛生設備屋上配管平面図	A1:1/100 A3:1/200
14	M-11	換気設備系統図	-	29	M-26	改修後・前 衛生設備ポンプ室・洗面所(1)・(2)配管詳細図	A1:1/50 A3:1/100
15	M-12	改修後・前 換気設備1階ダクト平面図	A1:1/100 A3:1/200	30	M-27	改修後・前 衛生設備便所配管詳細図	A1:1/50 A3:1/100


 株式会社 二十一設計 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15316号 神奈川県横浜市西区平沼1-39-3 三石30724 40階	鈴鹿工業高等専門学校 事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 係員	設計業務名	図面名称	縮尺	日付
		鈴鹿工業高専学生支援センター改修設備設計業務 工事名称 鈴鹿工業高専学生支援センター改修機械設備工事			

機械設備工事特記仕様書	
I. 工事概要	
1. 工事名称	鈴鹿工業高専学生支援センター改修機械設備工事
2. 工事場所	三重県鈴鹿市白子町 鈴鹿工業高等専門学校構内
3. 完成期限	平成26年3月14日(金曜日)
4. 工事の種類規模等	
工事範囲表	
棟名称	学生支援センター
建築種	模様替
構造・階数	S 3
概建築面積	465㎡
要延べ面積	1,350㎡
建物使用の有無・有 ○ 無	
空調設備	○
暖房設備	・
換気設備	○
給水設備	○
排水設備	○
消火設備	・
給湯設備	○
方ス設備	・
屋	空調設備 ○
外	暖房設備 ・
そ	給水設備 ○
の	排水設備 ○
他	消火設備 ・
設	方ス設備 ・
備	
II. 一般特記事項	
1. 総則	(1) この工事の請負者は、独立行政法人発注工事請負等契約規則別記第1号の工事請負契約基準、現場説明書、特記仕様書3枚、図面27枚、公共建築改修工事標準仕様書(統一基準)(機械設備工事編)(平成25年版)、文部科学省機械設備工事標準仕様書(特記基準)(平成25年版)、公共建築設備工事標準図(統一基準)(機械設備工事編)(平成25年版)、文部科学省機械設備工事標準図(特記基準)(平成25年版)、及び工事写真撮影要領に基づき工事を施工する。 (2) 特記仕様書の適用方法 1) ・印で始まる事項及び表中の・印の事項については、○印を付した事項のみ適用する。 2) 表中の各欄に、数字、文字、記号等を記入する事項については、記入してある事項のみを適用する。 3) ―印又は×印で抹消した事項は全て適用しない。 4) 特記された材料、製造所、製品名、施工業者等の取り扱い、特記されたもの又は同等以上のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 5) 左欄の()内の数値は、公共建築改修工事標準仕様書(統一基準)(機械設備工事編)(平成25年版)(以下、「公共改修仕様書」という)及び文部科学省機械設備工事標準仕様書(特記基準)(平成25年版)、(以下、「文科仕様書」という)の該当項目番号を示す。
III. 一般共通事項	
1. 実施工程表 (公共改修仕様書 第1編1.2.1)	概成工期 平成26年2月28日(金曜日)
2. 電気保安技術者等 (公共改修仕様書 第1編1.3.2)	この工事現場に、下記のいずれかの電気保安技術者を選任する。
	項目名 電気保安技術者
	1. 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者 ○
	2. 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者 ○
	3. 高等学校又はこれと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者 ○
	4. 旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者 ○
	5. 公共事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者 ○
	6. 第1種電気工事士の資格を有する者 ○
	7. 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者 ・
	8. 第2種電気工事士(旧電気工事士)の資格を有する者 ・
	9. 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学(実験を含む)に関する科目を修めて卒業した者 ・
3. 施工条件 (公共改修仕様書 第1編1.3.3)	工사용電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

4. 施工中の環境保全等 (公共改修仕様書 第1編1.3.9)	○低騒音型・低振動型建設機械の使用 本工事においては、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成9年7月31日 建設省告示1536号)に基づき国土交通大臣が型式指定を行った低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。低騒音型建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。 ○排ガス対策型建設機械 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」(平成17年法律第51号)に基づく技術基準に適合する機械、又は、「排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成3年10月8日付け建設省経機発第249号)、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定」(平成18年3月17日 国土交通省告示第348号)もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成18年3月17日付け国総発第215号)に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、もしくは建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで排出ガス対策型機械と同等と見なす。ただ、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。排出ガス対策型建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。
5. 環境への配慮 (公共改修仕様書 第1編1.4.1)	○ディーゼル車排出ガス規制に適合した車両 ① 受注者は本工事現場で使用し、又は使用される関係車両(以下「本工事関係車両」という。)が、当該工事場所のディーゼル車排出ガス規制条例(以下「排出ガス規制条例」という。)の適用を受ける場合は、これに適合した車両を使用しなければならない。 ② 受注者は、本工事の施工に先立ち、本工事関係車両の「ディーゼル車排出ガス規制に適合する車両の使用」について、排出ガス規制条例の遵守を施工計画書に記載しなければならない。 ③ 受注者は、本工事関係車両にディーゼル車を使用する場合には、車検証のコピーを保管し、本工事関係車両を把握しなければならない。 ④ 受注者は、取締りにより本工事関係車両に違法行為等があった場合には、直ちに監督職員に報告しなければならない。 ⑤ 受注者は、資機材の搬出入等において、資材納入業者に排出ガス規制条例を遵守させるものとする。
6. 機材の検査等・機材の検査に伴う試験 (公共改修仕様書 第1編1.4.5) (公共改修仕様書 第1編1.4.6)	監督職員の行う機材の検査及び機材検査に伴う試験は下記による。
7. 技能士 (公共改修仕様書 第1編1.6.2)	○配管(配管工事) ○建築板金(ダクト製作及び取付) ○熱絶縁施工(保温工事) ・冷凍空調調和機器施工(チリングユニット、パッケージ形空調調和機の据付及び整備)
8. 一工程の施工の確認及び報告 (公共改修仕様書 第1編1.6.4)	下記の工事部分は、施工の確認及び報告を監督職員に行うものとする。
9. 施工の検査等・検査に伴う試験・立会い等 (公共改修仕様書 第1編1.6.5) (公共改修仕様書 第1編1.6.6) (公共改修仕様書 第1編1.6.7) (公共改修仕様書 第1編1.6.9)	下記の施工部分は、監督職員の検査・立会い・検査に伴う試験を受ける。
	工事部分 確認・報告事項
	工事部分 検査立会試験備考
	工事部分 検査立会試験備考

10. 技術検査 (公共改修仕様書 第1編1.7.2)	工事完成時には、下記の完成図等を提出するものとする。
11. 完成時の提出図書 (公共改修仕様書 第1編1.8.2) (公共改修仕様書 第1編1.8.3)	提出図書
	名称 体裁等 部数
	○完成図 原図 1部
	○ " 仮製本 2部
	※○ " 製本 1部
	○施工図 原図 1部
	○ " 仮製本 1部
	※○機器完成図 2部
	※○各種試験成績書 2部
	※○諸手続き書類(写) 2部
	※○保全指導書 2部
	○工事写真帳 ○電子媒体 ○紙媒体(ファイル綴じ) 1部
	○CADデータ(○要・不要) 本工事は、次の書類について電子データ提出の対象とする。 ○工事写真・完成写真 ○完成図 貸与する設計図のCADデータ著作権者名: ファイル形式: JWW 貸与条件: 貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図作成のために以外に使用しないこと。
	提出方法: CADデータファイル形式はJWW・JWC・DXF形式とする。 1) 完成図はA1判とし、製本はA4黒表紙、工事名称等は金文字入りとする。 2) 表中※印は、一冊にまとめてよい。 3) 完成図面・特記仕様書・現場説明書等一式をA3判原図1部と、A3判2ツ折製本3部を提出する。
12. 保全に関する資料 (公共改修仕様書 第1編1.8.4)	下記に示す機器及びシステムについては、当該機器又はシステムを運用する職員に対しその機能・操作の説明、保守点検の要領及び障害時の対策等を説明するものとする。
13. 足場・仮設間仕切り (公共改修仕様書 第1編2.2.1) (公共改修仕様書 第1編2.2.3)	・ 図示による ・ 下記による
14. 監督職員事務所 (公共改修仕様書 第1編2.3.1)	
15. 養生 (公共改修仕様書 第1編3章)	
16. 撤去 (公共改修仕様書 第1編4章)	
17. 撤去跡の補修及び復旧 (公共改修仕様書 第1編4.2.4)	
18. 発生材の処理等 (公共改修仕様書 第1編5章)	発生材の処理は、下記による。 (1) 引き渡しを要するもの 1) 品名 2) 引渡し先 3) 集積場所 (2) 特別管理産業廃棄物 1) 品名 3) 集積場所 2) 引渡し先 4) 集積方法 (3) 現場において再利用するもの 1) 品名 2) 使用場所 (4) 再生資源化(再利用)するもの 1) 品名 鎮圧類、放熱器 (5) 関係法令に従い適切に処理するもの 1) 品名 保温材、配管のフランジ部分のバックン、空調機等
19. 工事の区分	建築工事、電気工事、機械工事、土木工事等の工事区分
	項目 工事区分 建築工事 電気工事 機械工事 E V 備考
	名称 摘要 建築工事 電気工事 機械工事 E V 備考
	コンクリート穴あけ 鉄骨工事鉄管スリーブ入れ ○ ○ ○ 墨出し共
	" 梁、壁木製型枠入れ ○ ○ 墨出し、補修除く
	" 梁、壁スリーブ入れ ○ ○ ○ ○ ○ ボイド等

	項目 工事区分 建築工事 電気工事 機械工事 E V 備考
	名称 摘要 建築工事 電気工事 機械工事 E V 備考
	コンクリート穴あけ 床スラブ木製型枠入れ ○ ○ ○ 墨出し、補修除く
	" 床スリーブ入れ ○ ○ ○ ボイド等
	同上開口部補強 鉄筋切断及び補強筋入れ ○ ○ ○
	既設コンクリート 床・壁 はつり穴あけ ○ ○ ○ 墨出し共
	既設コンクリート 床溝はつり・補修 鉄筋切断及び補強筋入れ ○ ○ ○ 墨出し共
	既設器具・配管・ダクト撤去後の穴埋め ○ ○ ○ 補強配筋が必要な穴埋は建築工事
	天井改め口 改め口取付及び、開口部補強 ○ ○ ○ ボード切込、墨出し共
	天井開口を必要としないボード等の切開 ○ ○ ○
	軽量鉄骨下地開口補強 天井及び壁、ボード切開 ○ ○ ○ 照明器具、空調吹出口給排気ガラリ等
	軽鉄下地開口部墨出し 電気関係開口部 ○ ○ ○
	軽鉄下地開口部墨出し 機械設備関係開口部 ○ ○ ○
	盤等重物の下地補強 露出形器具取付用 ○ ○ ○
	床下改め口 改め口取付及び、開口部補強 ○ ○ ○ 墨出し共
	流し台 ステンレス製 ○ ○ ○ 水切り板、同穴あけ共
	" ミニキッチン等(含む排水金具) ○ ○ ○ レンジフード換気扇、付属品共
	" 陶器製 ○ ○ ○
	水栓、電気温水器 ○ ○ ○
	洗面化粧台 ○ ○ ○
	鏡 ○ ○ ○
	化粧洗面器 ○ ○ ○
	化粧カウンター 洗面器用穴あけ共 ○ ○ ○
	ライニングバック ○ ○ ○
	ルーフトレイン ○ ○ ○
	立てどい 防露工事共 ○ ○ ○
	雨水排水管 第1樹から排水幹線までの配管 ○ ○ ○ 第1樹まで配管
	" 幹線の配管 ○ ○ ○ 第1樹を含む
	生活排水、実験排水 建物及び第1樹までの配管 ○ ○ ○
	" 第1樹から排水幹線までの配管 ○ ○ ○
	" 幹線の配管 ○ ○ ○
	アスファルト舗装等 撤去 ○ ○ ○
	アスファルト舗装等 復旧 ○ ○ ○
	機械基礎 ○ ○ ○
	室外機用鉄骨架台 ○ ○ ○
	機械用アンカーボルト型枠入れ ボイラ、冷凍機等機械設備関係機器 ○ ○ ○ 墨出し共
	機械用アンカーボルト型枠入れ 自家発電機その他電気関係機器 ○ ○ ○ 墨出し共
	屋外貯油槽 地下式 ○ ○ ○
	共同溝 歩床コンクリート共 ○ ○ ○
	建物、共同溝接続トレンチ ○ ○ ○
	同上接続部止水板 ○ ○ ○
	防火用水池 ○ ○ ○
	防火用水地用給水管 ○ ○ ○
	各種積類 コンクリート類 ○ ○ ○
	" SUS、FRP製 ○ ○ ○
	換気扇取付 ○ ○ ○ 天井扇等・全熱交換器型含む フード共
	同上用枠、取付板等 木製、アルミ製、鉄製 ○ ○ ○
	同上用配管配線 ○ ○ ○ S17x、配線は機械設備
	外壁取付ガラリ 給排気用 ○ ○ ○ ベンドキャップは機械
	内壁取付ガラリ ○ ○ ○ 遮光ガラリ共
	ガラリへの給排気ダクト接続 ○ ○ ○
	煙感知器連動防火戸 ○ ○ ○
	同上用煙感知器 リレー及びリレーまでの配管配線共 ○ ○ ○
	防煙防火ダンパー リレー取付まで① ○ ○ ○
	煙感知器連動シャッター リレー取付まで② ○ ○ ○
	煙感知器連動防煙垂れ壁 リレー取付まで③ ○ ○ ○
	上記①～③用煙感知器 リレーまでの配管配線共 ○ ○ ○
	道路側溝用排水 L型・U型と管布設 ○ ○ ○
	制御盤 制御盤以降の配管、配線共 ○ ○ ○
	同上接続(一次側) 制御盤主開閉器までの配管配線 ○ ○ ○ 接地共
	屋内消火栓 消火ポンプ、制御盤 ○ ○ ○
	屋内消火栓起動リレー ○ ○ ○
	同上表示灯及び起動装置 ○ ○ ○
	自動火災報知器 ○ ○ ○
	連絡送水口 座板共 ○ ○ ○
	独立煙突 ○ ○ ○
	同上煙道 鋼板製 ○ ○ ○
	同上避雷設備 ○ ○ ○
	配管配線ビット 蓋の切開共 ○ ○ ○
	二重床の配管、配線用開口 フリーアクセスフロア等 ○ ○ ○
	コンクリートシャフト点検口 ○ ○ ○
	機械室の防音遮音処理 ○ ○ ○
	雷保護設備 ○ ○ ○
	保守点検用タラップ、はしご ○ ○ ○

 株式会社 二十一設計 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15316号 神奈川県横浜市西区平沼1-39-3 三石3047 46階	鈴鹿工業高等専門学校 事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 係員	設計業務名 鈴鹿工業高等専学生支援センター改修設備設計業務	図面名称 特記仕様書(1)	総尺 -	日付 平成25年9月
	監修 製図	工事名称 鈴鹿工業高等専学生支援センター改修機械設備工事	図面番号 特-01	通し番号 No. 02	

項目	工事区分	建築工事	電気工事	機械工事	E	V	備考
コンセント設置	ビット内、機械室内	○					
インタホン配線	シャフト外	○					
〃	シャフト内			○			
非常放送用スピーカ				○			
同上用配線	シャフト外	○					
〃	シャフト内			○			
監視カメラ				○			
同上用配線	シャフト外	○					
〃	シャフト内			○			
点検用タラップ	ビット内			○			
室内テレビ用吊金物		○					
防火区画貫通部補修		○	○				モルタル充てん等
機器・配管取付後の壁、床等の補修		○	○				
テレビアンテナ	取付共	○	○				
グリストラップ及びガソリトラップ	コンクリート製	○					
	ステンレス鋼板製			○			
ALCパネルの穴あけ、補修	ダクト等の貫通部	○					
PC板の穴あけ	スリーブ入れ	○					
同上補修	区画貫通処理	○	○				モルタル充てん
電動シャッター、自動扉の配管配線	二次側。操作盤、押しボタン取付共	○					
同上配線配管、接続	一次側	○					
ユニットバス本体	据付共	○					換気扇共
同上用配線	一次側接続まで。SWの取付配線	○					
同上用配管	接続まで			○			
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無響室等	現場製作	○					
恒温恒湿室	プレハブ型			○			
無響室等	現場製作	○					
〃	プレハブ型			○			
芝生、種子吹付け		○					
法枠、モルタル吹付け		○					
コンクリート擁壁		○					
植栽		○					
電気錠		○					本体・金具・二次側配線
〃		○					一次側配線
洗濯機パン				○			
アルミパネルの穴あけ、補修		○					
昇降機設備本体	三方枠、同取付後の壁補修まで			○			
昇降機用シャフト	天井フック、床センサーコンクリート、防塵蓋料、搬入用等開口、換気羽共	○					
昇降機用監視盤				○			
昇降機換気扇取付				○			
各種信号制御線	停電用、火災用等			○			
三方枠周囲の壁仕上		○					
各階出入口用開口	敷居取付用持出し共	○					
昇降路内中間ビーム設置				○			
ビット内防水		○					
動力、照明用電源、接地引込み		○					制御盤一次側
〃				○			本体から制御盤まで
IV. 共通工事							
1. 総合調整 (公共改修仕様書 第2編1.3.2)	下記の項目について総合調整を行い測定表を提出する。 ○風量調整 ○水量調整 ○室内外空気の温湿度の測定 ・室内気流及びじんあいの測定 ・騒音の測定						
2. 配管工事 2.1 ()	○機械設備工事特記仕様書(改修工事)該当事項による。						
2.2 施工 ()	○機械設備工事特記仕様書(改修工事)該当事項による。						
2.3 再生を行う場合の留意事項 (公共改修仕様書 第2編2.2.13)							
2.4 埋設配管 (公共改修仕様書 第2編2.5.1)	図示の地中の埋設配管には、下記の表示を行う。 ・埋設表示テープ(・標準図による) ○地中埋設標 (○標準図による(鉄製))						
2.5 埋設深さ (公共改修仕様書 第2編2.5.2)	地中埋設配管の深さは、下記による。 ○一般敷地(300mm以上) ○車両道路(600mm以上)						

3. 保温・塗装・防錆工事 3.1 保温工事 (公共改修仕様書 第2編第3章第1節)	保温仕様は下記によるものとし、下記以外のものは標準仕様書による。 <table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">施工箇所</th><th colspan="4">保温仕様</th></tr> <tr><th>屋内</th><th>天井</th><th>床下</th><th>屋外</th><th>露出</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>学生支援センター</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> ○口径38.10mm以下の冷媒管は、冷媒用被覆断熱鋼管を用いる場合は、保温材厚さは液管で10mm、ガス管で20mmとする。ただし、液管に使用する口径9.52mm以下の配管については、保温材厚さを8mmとしてもよい。 ○給水管のビット内及び共同構内は保温を施さない。 ○全熱交換器の一次側ダクトには、給気側全て・排気側は外壁より1m内側の範囲について保温を行う。 ○排風機のダクトは凍結防止のため外壁からチャッキダンパーまで保温を行う。チャッキダンパーがないものは外壁より1m内側の範囲まで保温を行う。 ○通気配管は、結露防止のため外壁より1m内側の範囲まで保温を行う。 ○外気取り入れダクトには保温を行う。 塗装箇所は下記による。塗装仕様及び防錆仕様は下記によるものとし、下記以外のものは標準仕様書による。	施工箇所		保温仕様				屋内	天井	床下	屋外	露出	学生支援センター		○																																																																		
施工箇所		保温仕様																																																																															
屋内	天井	床下	屋外	露出																																																																													
学生支援センター		○																																																																															
3.2 塗装工事 防錆工事 (公共改修仕様書 第2編3.2.1) (公共改修仕様書 第2編3.2.2)																																																																																	
4. はつり・穴開け (公共改修仕様書 第2編第4章)																																																																																	
5. インサート及びアンカー (公共改修仕様書 第2編第5章)																																																																																	
6. 電気工事 6.1 配管配線																																																																																	
6.2 施工																																																																																	
7. 関連工事 7.1 土工事 (公共改修仕様書 第2編第7章第1節)	土工事は下記による。 1)埋め戻し土は下記による。 ・根切り土 ○根切り土及び搬入土 ・搬入土 搬入土は、山砂とする。 2)不用土の処分は下記による。 ・構内指示の場所に敷き均し ・構内指示の場所に積み上げ ○構外に搬出し適切処分																																																																																
7.2 地業工事 (公共改修仕様書 第2編第7章第2節)																																																																																	
7.3 コンクリート工事 (公共改修仕様書 第2編第7章第3節)																																																																																	
7.4 左官工事 (公共改修仕様書 第2編第7章第4節)	機械基礎等のコンクリート面の仕上げは下記による。 <table border="1"> <thead> <tr><th>仕上げ</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>・モルタル塗り</td><td></td></tr> <tr><td>・コンクリートこて仕上げ</td><td></td></tr> </tbody> </table>	仕上げ	備考	・モルタル塗り		・コンクリートこて仕上げ																																																																											
仕上げ	備考																																																																																
・モルタル塗り																																																																																	
・コンクリートこて仕上げ																																																																																	
7.5 鋼材工事 (公共改修仕様書 第2編第7章第5節)																																																																																	
V. 空気調和設備工事																																																																																	
1. 一般事項	1)外気及び室内又は系統の設計温湿度条件は下記による。 <table border="1"> <thead> <tr><th colspan="5">設計温湿度条件</th><th rowspan="2">備考</th></tr> <tr><th colspan="2">外気条件及び室内又は系統名</th><th colspan="2">夏 期</th><th colspan="2">冬 期</th></tr> <tr><th>乾燥球温度</th><th>相対湿度</th><th>乾燥球温度</th><th>相対湿度</th><th>乾燥球温度</th><th>相対湿度</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>外 気 条 件</td><td>34.5℃</td><td>57.6%</td><td>1.7℃</td><td>49.6%</td><td></td></tr> <tr><td>室 各 室 名</td><td>26.0℃</td><td>成行</td><td>22.0℃</td><td>成行</td><td></td></tr> </tbody> </table> 2)冷温水、蒸気等の設計供給条件は下記による。 <table border="1"> <thead> <tr><th>種 別</th><th>系 統 名</th><th>等</th><th>設計供給条件</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>冷 水</td><td></td><td></td><td>℃～℃</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>℃～℃</td><td></td></tr> <tr><td>温 水</td><td></td><td></td><td>℃～℃</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>℃～℃</td><td></td></tr> <tr><td>高 温 水</td><td></td><td></td><td>℃～℃</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>℃～℃</td><td></td></tr> <tr><td>蒸 気</td><td></td><td></td><td>MPa</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>MPa</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>MPa</td><td></td></tr> </tbody> </table>	設計温湿度条件					備考	外気条件及び室内又は系統名		夏 期		冬 期		乾燥球温度	相対湿度	乾燥球温度	相対湿度	乾燥球温度	相対湿度	外 気 条 件	34.5℃	57.6%	1.7℃	49.6%		室 各 室 名	26.0℃	成行	22.0℃	成行		種 別	系 統 名	等	設計供給条件	備 考	冷 水			℃～℃					℃～℃		温 水			℃～℃					℃～℃		高 温 水			℃～℃					℃～℃		蒸 気			MPa					MPa					MPa	
設計温湿度条件					備考																																																																												
外気条件及び室内又は系統名		夏 期		冬 期																																																																													
乾燥球温度	相対湿度	乾燥球温度	相対湿度	乾燥球温度	相対湿度																																																																												
外 気 条 件	34.5℃	57.6%	1.7℃	49.6%																																																																													
室 各 室 名	26.0℃	成行	22.0℃	成行																																																																													
種 別	系 統 名	等	設計供給条件	備 考																																																																													
冷 水			℃～℃																																																																														
			℃～℃																																																																														
温 水			℃～℃																																																																														
			℃～℃																																																																														
高 温 水			℃～℃																																																																														
			℃～℃																																																																														
蒸 気			MPa																																																																														
			MPa																																																																														
			MPa																																																																														

2. 機 材 2.1 配管材料等	・図示による ○下記による <table border="1"> <thead> <tr><th>用 途</th><th>配 管 種 別</th><th>継 手 種 別</th><th>施 工 場 所</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="2">冷 温 水 管</td><td>・配管用炭素鋼鋼管(白)</td><td>ねじ込み式可鍛鉄製管継手</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・圧力配管用炭素鋼鋼管(Sch40)</td><td>圧力配管用ねじ込み式可鍛鉄製管継手</td><td></td><td></td></tr> <tr><td rowspan="2">冷 却 配 管</td><td>・配管用炭素鋼鋼管(白)</td><td>ねじ込み式可鍛鉄製管継手</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・圧力配管用炭素鋼鋼管(Sch40)</td><td>圧力配管用ねじ込み式可鍛鉄製管継手</td><td></td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">蒸 気 管 住 管</td><td>・配管用炭素鋼鋼管(黒)</td><td>ねじ込み式可鍛鉄製管継手</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・圧力配管用炭素鋼鋼管(Sch40)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・配管用炭素鋼鋼管(黒)</td><td>ねじ込み式可鍛鉄製管継手</td><td></td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">選 管</td><td>・ステンレス鋼管</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・圧力配管用炭素鋼鋼管(Sch40)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370)</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・配管用ステンレス鋼管(溶接管)</td><td></td><td></td><td>溶接接合</td></tr> <tr><td rowspan="2">空 調 用 排 水 管</td><td>○結露防止層付硬質塩化ビニル管</td><td>同種継手</td><td>屋内配管</td><td></td></tr> <tr><td>○硬質塩化ビニル管</td><td>同種継手</td><td>屋外配管</td><td></td></tr> </tbody> </table> 高温水管の勾配は1/150～1/250で水抜き及び空気抜きが容易にできるように適切にとる。 ・図示による ・下記による <table border="1"> <thead> <tr><th>用 途</th><th>種 別</th><th>施 工 場 所</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	用 途	配 管 種 別	継 手 種 別	施 工 場 所	備 考	冷 温 水 管	・配管用炭素鋼鋼管(白)	ねじ込み式可鍛鉄製管継手			・圧力配管用炭素鋼鋼管(Sch40)	圧力配管用ねじ込み式可鍛鉄製管継手			冷 却 配 管	・配管用炭素鋼鋼管(白)	ねじ込み式可鍛鉄製管継手			・圧力配管用炭素鋼鋼管(Sch40)	圧力配管用ねじ込み式可鍛鉄製管継手			蒸 気 管 住 管	・配管用炭素鋼鋼管(黒)	ねじ込み式可鍛鉄製管継手			・圧力配管用炭素鋼鋼管(Sch40)				・圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370)				・配管用炭素鋼鋼管(黒)	ねじ込み式可鍛鉄製管継手			選 管	・ステンレス鋼管				・圧力配管用炭素鋼鋼管(Sch40)				・圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370)				・配管用ステンレス鋼管(溶接管)			溶接接合	空 調 用 排 水 管	○結露防止層付硬質塩化ビニル管	同種継手	屋内配管		○硬質塩化ビニル管	同種継手	屋外配管		用 途	種 別	施 工 場 所									
用 途	配 管 種 別	継 手 種 別	施 工 場 所	備 考																																																																											
冷 温 水 管	・配管用炭素鋼鋼管(白)	ねじ込み式可鍛鉄製管継手																																																																													
	・圧力配管用炭素鋼鋼管(Sch40)	圧力配管用ねじ込み式可鍛鉄製管継手																																																																													
冷 却 配 管	・配管用炭素鋼鋼管(白)	ねじ込み式可鍛鉄製管継手																																																																													
	・圧力配管用炭素鋼鋼管(Sch40)	圧力配管用ねじ込み式可鍛鉄製管継手																																																																													
蒸 気 管 住 管	・配管用炭素鋼鋼管(黒)	ねじ込み式可鍛鉄製管継手																																																																													
	・圧力配管用炭素鋼鋼管(Sch40)																																																																														
	・圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370)																																																																														
	・配管用炭素鋼鋼管(黒)	ねじ込み式可鍛鉄製管継手																																																																													
選 管	・ステンレス鋼管																																																																														
	・圧力配管用炭素鋼鋼管(Sch40)																																																																														
	・圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370)																																																																														
	・配管用ステンレス鋼管(溶接管)			溶接接合																																																																											
空 調 用 排 水 管	○結露防止層付硬質塩化ビニル管	同種継手	屋内配管																																																																												
	○硬質塩化ビニル管	同種継手	屋外配管																																																																												
用 途	種 別	施 工 場 所																																																																													
2.2 弁 類																																																																															
2.3 ダクト及びダクト付属品 (公共改修仕様書 第3編第1章第2節)	1)ダクト及びチャンパーの表示寸法は、外形寸法を示す。 2)ダクトの材質及び使用場所は下記によるものとし、下記以外は標準仕様書による。 <table border="1"> <thead> <tr><th>材 質</th><th>使 用 箇 所</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>長 方 形</td><td>・ステンレス鋼板製(SUS A)</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>・ステンレス鋼板製(SUS B)</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>・塩化ビニルライニング鋼板製(両面)</td><td></td></tr> <tr><td>ダ ク</td><td>・グラスウール製</td><td></td></tr> <tr><td>ク</td><td>・硬質塩化ビニル管</td><td></td></tr> <tr><td>ト</td><td>・普通鋼板製</td><td></td></tr> <tr><td>ス</td><td>・ステンレス鋼板製</td><td></td></tr> <tr><td>パ</td><td>・硬質塩化ビニルライニング鋼板製(両面)</td><td></td></tr> <tr><td>イ</td><td>○亜鉛鉄板製</td><td></td></tr> <tr><td>ゲ</td><td>・グラスウール製円形ダクト</td><td></td></tr> <tr><td>ド</td><td>・硬質ポリ塩化ビニル管(VU)</td><td></td></tr> <tr><td>他</td><td>○フレキシブルダクト</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>○フレキシブルダクト(断熱材付)</td><td></td></tr> </tbody> </table> 3)ダクトの付属品は、下記による。 ・塩化ビニルライニング鋼板製(両面)に接続するダンパー類は、内面をエポキシ又は、塩ビコーティングを施したものとす。 ・バンドキャップは、アルミ製丸形フード(ガラリ型)とし水切り付しとする。 ・ドラフトチャンパー系統を除く天井内の丸ダクトはフレキシブルダクトとする。	材 質	使 用 箇 所	長 方 形	・ステンレス鋼板製(SUS A)			・ステンレス鋼板製(SUS B)			・塩化ビニルライニング鋼板製(両面)		ダ ク	・グラスウール製		ク	・硬質塩化ビニル管		ト	・普通鋼板製		ス	・ステンレス鋼板製		パ	・硬質塩化ビニルライニング鋼板製(両面)		イ	○亜鉛鉄板製		ゲ	・グラスウール製円形ダクト		ド	・硬質ポリ塩化ビニル管(VU)		他	○フレキシブルダクト			○フレキシブルダクト(断熱材付)																																						
材 質	使 用 箇 所																																																																														
長 方 形	・ステンレス鋼板製(SUS A)																																																																														
	・ステンレス鋼板製(SUS B)																																																																														
	・塩化ビニルライニング鋼板製(両面)																																																																														
ダ ク	・グラスウール製																																																																														
ク	・硬質塩化ビニル管																																																																														
ト	・普通鋼板製																																																																														
ス	・ステンレス鋼板製																																																																														
パ	・硬質塩化ビニルライニング鋼板製(両面)																																																																														
イ	○亜鉛鉄板製																																																																														
ゲ	・グラスウール製円形ダクト																																																																														
ド	・硬質ポリ塩化ビニル管(VU)																																																																														
他	○フレキシブルダクト																																																																														
	○フレキシブルダクト(断熱材付)																																																																														
2.4 ダクトの再利用 ・撤去・清掃 (公共改修仕様書 第3編2.2.8) (公共改修仕様書 第3編2.2.9) (公共改修仕様書 第3編2.2.11)																																																																															

3. 施 工 ()	機器を固定する場合の設計用水平震度は下記による。 <table border="1"> <thead> <tr><th rowspan="2">設置場所</th><th colspan="4">タンク以外の機器</th></tr> <tr><th>特 定 の 施 設</th><th colspan="2">一 般 の 施 設</th><th>一 般 の 施 設</th></tr> <tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>一般機器</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>上層階</td><td>・ 2.0 (2.0)</td><td>○ 1.5 (2.0)</td><td>・ 1.5 (2.0)</td><td>・ 1.0 (1.5)</td></tr> <tr><td>屋上及び塔屋</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>中間階</td><td>・ 1.5 (1.5)</td><td>○ 1.0 (1.5)</td><td>・ 1.0 (1.5)</td><td>・ 0.6 (1.0)</td></tr> <tr><td>1階及び地下階</td><td>・ 1.0 (1.0)</td><td>○ 0.6 (1.0)</td><td>・ 0.6 (1.0)</td><td>・ 0.4 (0.6)</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr><th rowspan="2">設置場所</th><th colspan="4">タンク</th></tr> <tr><th>特 定 の 施 設</th><th colspan="2">一 般 の 施 設</th><th>一 般 の 施 設</th></tr> <tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>一般機器</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>上層階</td><td>・ 2.0</td><td>○ 1.5</td><td>・ 1.5</td><td>・ 1.0</td></tr> <tr><td>屋上及び塔屋</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>中間階</td><td>・ 1.5</td><td>○ 1.0</td><td>・ 1.0</td><td>・ 0.6</td></tr> <tr><td>1階及び地下階</td><td>・ 1.5</td><td>○ 1.0</td><td>・ 1.0</td><td>・ 0.6</td></tr> </tbody> </table> ()内の数値は防振支持の機器の場合を示す。 重要機器は、下記による。	設置場所	タンク以外の機器				特 定 の 施 設	一 般 の 施 設		一 般 の 施 設	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	一般機器	上層階	・ 2.0 (2.0)	○ 1.5 (2.0)	・ 1.5 (2.0)	・ 1.0 (1.5)	屋上及び塔屋					中間階	・ 1.5 (1.5)	○ 1.0 (1.5)	・ 1.0 (1.5)	・ 0.6 (1.0)	1階及び地下階	・ 1.0 (1.0)	○ 0.6 (1.0)	・ 0.6 (1.0)	・ 0.4 (0.6)	設置場所	タンク				特 定 の 施 設	一 般 の 施 設		一 般 の 施 設	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	一般機器	上層階	・ 2.0	○ 1.5	・ 1.5	・ 1.0	屋上及び塔屋					中間階	・ 1.5	○ 1.0	・ 1.0	・ 0.6	1階及び地下階	・ 1.5	○ 1.0	・ 1.0	・ 0.6
設置場所	タンク以外の機器																																																																				
	特 定 の 施 設	一 般 の 施 設		一 般 の 施 設																																																																	
重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	一般機器																																																																	
上層階	・ 2.0 (2.0)	○ 1.5 (2.0)	・ 1.5 (2.0)	・ 1.0 (1.5)																																																																	
屋上及び塔屋																																																																					
中間階	・ 1.5 (1.5)	○ 1.0 (1.5)	・ 1.0 (1.5)	・ 0.6 (1.0)																																																																	
1階及び地下階	・ 1.0 (1.0)	○ 0.6 (1.0)	・ 0.6 (1.0)	・ 0.4 (0.6)																																																																	
設置場所	タンク																																																																				
	特 定 の 施 設	一 般 の 施 設		一 般 の 施 設																																																																	
重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	一般機器																																																																	
上層階	・ 2.0	○ 1.5	・ 1.5	・ 1.0																																																																	
屋上及び塔屋																																																																					
中間階	・ 1.5	○ 1.0	・ 1.0	・ 0.6																																																																	
1階及び地下階	・ 1.5	○ 1.0	・ 1.0	・ 0.6																																																																	
VI. 自動制御設備工事																																																																					
1. 機 材 1.1 配管配線 その他																																																																					
1.2 ()																																																																					
2. 施 工 ()																																																																					
VII. 給排水衛生設備工事																																																																					
1. 一般事項	給排水工事の種類は、下記による。 <table border="1"> <tbody> <tr><td>給水設備</td><td>○市水 ・井水 ・再利用水 ・その他()</td></tr> <tr><td>給湯設備</td><td>○局所式 ・中央式(給湯温度 ℃)</td></tr> <tr><td>消火設備</td><td>・屋内消火栓(1号) ・屋外消火栓 ・スプリンクラー ・二酸化炭素消火設備 ・連結送水管設備 ・その他()</td></tr> <tr><td>屋内排水設備</td><td>○雑排水 ○汚水 ・実験排水 ・その他()</td></tr> <tr><td>屋外排水設備</td><td>○汚水、雑排水 ・実験排水 ・雨水 ・その他()</td></tr> <tr><td>排水放流先</td><td>○屋内合併処理施設 ・公共下水道 ・その他()</td></tr> </tbody> </table>	給水設備	○市水 ・井水 ・再利用水 ・その他()	給湯設備	○局所式 ・中央式(給湯温度 ℃)	消火設備	・屋内消火栓(1号) ・屋外消火栓 ・スプリンクラー ・二酸化炭素消火設備 ・連結送水管設備 ・その他()	屋内排水設備	○雑排水 ○汚水 ・実験排水 ・その他()	屋外排水設備	○汚水、雑排水 ・実験排水 ・雨水 ・その他()	排水放流先	○屋内合併処理施設 ・公共下水道 ・その他()																																																								
給水設備	○市水 ・井水 ・再利用水 ・その他()																																																																				
給湯設備	○局所式 ・中央式(給湯温度 ℃)																																																																				
消火設備	・屋内消火栓(1号) ・屋外消火栓 ・スプリンクラー ・二酸化炭素消火設備 ・連結送水管設備 ・その他()																																																																				
屋内排水設備	○雑排水 ○汚水 ・実験排水 ・その他()																																																																				
屋外排水設備	○汚水、雑排水 ・実験排水 ・雨水 ・その他()																																																																				
排水放流先	○屋内合併処理施設 ・公共下水道 ・その他()																																																																				
2. 機 材 2.1 配管材料等	・図示による ○下記による <table border="1"> <thead> <tr><th>用 途</th><th>配 管 種 別</th><th>継 手 種 別</th><th>施 工 場 所</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>一般配管</td><td>・ポリ粉体鋼管()</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>○ステンレス鋼管</td><td>同種プレス管継手()</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>・塩ビライニング鋼管()</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>・</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>地中埋設配管</td><td>○塩ビライニング鋼管()</td><td></td><td>屋内埋設</td></tr> <tr><td></td><td>・ポリ粉体鋼管()</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>○ポリエチレン管(PFP)</td><td></td><td>屋外埋設</td></tr> <tr><td></td><td>・</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 計器類 量水器の区分は下記による。 親メーター(・貸与品 ・買取り) 子メーター(・貸与品 ○買取り) 量水器樹 ・標準図による ・水道事業者指定品 ・その他(図面に特記)	用 途	配 管 種 別	継 手 種 別	施 工 場 所	一般配管	・ポリ粉体鋼管()				○ステンレス鋼管	同種プレス管継手()			・塩ビライニング鋼管()				・			地中埋設配管	○塩ビライニング鋼管()		屋内埋設		・ポリ粉体鋼管()				○ポリエチレン管(PFP)		屋外埋設		・																																		
用 途	配 管 種 別	継 手 種 別	施 工 場 所																																																																		
一般配管	・ポリ粉体鋼管()																																																																				
	○ステンレス鋼管	同種プレス管継手()																																																																			
	・塩ビライニング鋼管()																																																																				
	・																																																																				
地中埋設配管	○塩ビライニング鋼管()		屋内埋設																																																																		
	・ポリ粉体鋼管()																																																																				
	○ポリエチレン管(PFP)		屋外埋設																																																																		
	・																																																																				
2.2 量水器																																																																					
2.3 弁 類	・図示による ○下記による <table border="1"> <thead> <tr><th>弁 種 類</th><th>圧 力</th><th>施 工 場 所</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>・管端防食ねじ込み形弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・青銅弁</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○ステンレス鋼弁</td><td>JIS 5K</td><td>図示による</td></tr> </tbody> </table>	弁 種 類	圧 力	施 工 場 所	・管端防食ねじ込み形弁			・青銅弁			○ステンレス鋼弁	JIS 5K	図示による																																																								
弁 種 類	圧 力	施 工 場 所																																																																			
・管端防食ねじ込み形弁																																																																					
・青銅弁																																																																					
○ステンレス鋼弁	JIS 5K	図示による																																																																			
2.4 給水装置	給水装置の構造及び材質の基準に関する省令(平成22年2月17日厚生労働省令第18号)における基準適合部品を用いること。																																																																				

神奈川県横浜西区平沼1-39-3 三石327K 16階	事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 係 員	設計業務名 給水工業高専学生支援センター改修設備設計業務	図面名称 特記仕様書(2)	縮 尺 -	日付 平成25年9月
一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15318号	監修 製図	工事名称 給水工業高専学生支援センター改修機械設備工事			図面番号 特-02
					通し番号 No. 03

3. 機 材	3.1 配管材料等					
	・ 図示による ○ 下記による					
	用途	配管種別	継手種別	施工場所		
排水設備	屋内汚水配管	・ 配管用炭素鋼鋼管(白)				
		○ 排水用硬質塩化ビニル管 (VP)	同種継手	埋設部、ピット内 屋内露出		
		○ 耐火二層管	同種継手	埋設部、ピット内、 屋内露出		
	屋内一般雑排水管	・ 配管用炭素鋼鋼管(白)				
		○ 排水用硬質塩化ビニル管 (VP)	同種継手	埋設部、ピット内 屋内露出		
		○ 耐火二層管	同種継手	埋設部、ピット内、 屋内露出		
	一般用排水通気管	○ 排水用硬質塩化ビニル管 (VP)	同種継手	埋設部、ピット内 屋内露出		
		・ 耐火二層管	同種継手			
	屋外排水管	・ 硬質ポリ塩化ビニル管				
		・ 透心力鉄筋コンクリート管				
		○ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管				
		・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管				
3.2 排水機	排水機は、下記による。 ・ 標準図による(・CV形 ・SA形 ・SB形 ・形) ○ その他(図面に特記)					
3.3						
4. 機 材	4.1 配管材料等					
	・ 図示による ○ 下記による					
	用途	配管種別	継手種別	施工場所		
給湯設備	一般配管	○ ステンレス鋼管	圧縮プレス又は拡管式			
		・ 鋼管				
4.2 弁 類	・ 図示による ○ 下記による					
	弁 種 類	圧 力	施 工 場 所			
	○ ステンレス鋼弁 ・ 青銅弁 ・					
4.3						
5. 材 料	5.1 配管材料等					
	・ 図示による ・ 下記による					
消火設備	一般配管	・ 配管用炭素鋼鋼管				
		・ 圧力配管用炭素鋼鋼管(Sch40)				
5.2						
6. 施 工	機器を固定する場合の設計用水平震度は下記による。					
	設置場所	タンク以外の機器				
		特定の施設 重要機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 重要機器	
		上層階	・ 2.0 (2.0)	○ 1.5 (2.0)	・ 1.5 (2.0)	・ 1.0 (1.5)
		屋上及び塔屋	・ 1.5 (1.5)	○ 1.0 (1.5)	・ 1.0 (1.5)	・ 0.6 (1.0)
		中間階	・ 1.0 (1.0)	○ 0.6 (1.0)	・ 0.6 (1.0)	・ 0.4 (0.6)
	設置場所	タンク				
		特定の施設 重要機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 重要機器	
		上層階	・ 2.0	○ 1.5	・ 1.5	・ 1.0
		屋上及び塔屋	・ 1.5	○ 1.0	・ 1.0	・ 0.6
中間階		・ 1.5	○ 1.0	・ 1.0	・ 0.6	
1階及び地下階	・ 1.5	○ 1.0	・ 1.0	・ 0.6		
()内の数値は防振支持の機器の場合を示す。 重要機器は、下記による。						

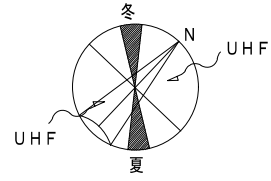
Ⅳ. ガス設備工事							
1. 一般事項							
ガスの種別は、下記による。 ・ 都市ガス MJ/Nm3 ・ 液化石油ガス MJ/kg							
2. 機 材							
2.1 配管及び配管付属品 (公共改修仕様書 第6編第2章)							
配管材料							
・ 図示による ・ 下記による							
用途	種 別	施 工 場 所					
一般配管	・ 配管用炭素鋼鋼管(白)	隠蔽・露出部					
・							
地中埋設配管	・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス用ポリエチレン管	埋設部					
・							
継手							
・ 図示による ・ 下記による							
用途	種 別	施 工 場 所					
一般配管継手	・ ねじ込み式鍛鉄製管継手 ・ 配管用鋼製突合せ溶接式管継手	隠蔽・露出部					
・							
地中埋設管継手	・ ねじ込み式鍛鉄製管継手(外面樹脂被覆) ・ ガス用ポリエチレン管継手	埋設部					
・							
・							
・							
2.2 ガスメーター	ガスメーターの区分は下記による。 親メーター(・貸与品 ・買取り) 子メーター(・貸与品 ・買取り)						
2.3 ()							
3. 施 工 ()							
Ⅴ. 医療ガス設備工事							
1. 一般事項							
1) 医療ガス設備工事は、下記のこと注意して行う。							
2) ガスの種別は、下記による。 ・ 酸素 ・ 亜酸化窒素(笑気) ・ 治療用空気 ・ 吸引(・水封式 ・油回転式) ・ 二酸化炭素 ・ 手術器械駆動用窒素 ・ 圧縮空気(・治療用 ・手術機器駆動用) ・ 麻酔ガス排除(排ガス)							
2. 機 材 ()							
3. 施 工 ()							
Ⅵ. 特殊ガス等設備工事							
1. 一般事項							
ガスの種類は、下記による。 ・ 窒素ガス(・高純度 ・一般) ・ ヘリウムガス(・高純度 ・一般) ・ 水素ガス(・高純度 ・一般) ・ 酸素ガス(一般) ・ アルゴンガス(・高純度 ・一般) ・ 炭酸ガス(一般) ・ 圧縮空気(・高純度 ・一般) ・ 圧縮空気(空気圧縮機)							
2.1 機 材							
2.1.1 配管及び配管付属品 (文科仕様書 第5編2.4.1) (文科仕様書 第5編2.4.2)							
施工場所	種 別	窒素	水素	アルゴン	炭酸	圧縮	圧縮空気
		素	素	素	酸	空	気
		ガ	ガ	ガ	ガ	気	機
		ス	ス	ス	ス	機	による
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・
2.2 ()							
3. 施 工 ()							

凡例				
記号	名称	材質	備考	
— OA —	外気ダクト	亜鉛鉄板、スパイラルダクト、フレキシブルダクト		
— EA —	排気ダクト	亜鉛鉄板、スパイラルダクト、フレキシブルダクト		
— SA —	給気ダクト	亜鉛鉄板、スパイラルダクト、フレキシブルダクト		
— RA —	還気ダクト	亜鉛鉄板、スパイラルダクト、フレキシブルダクト		
— R —	冷媒管	断熱材被覆鋼管		
— D —	ドレン管	屋内：結露防止層付硬質塩化ビニル管 屋外：硬質塩化ビニル管(VP管)	JIS G 6741	
— VD —	風量調節ダンパー	鋼板製		
— FD —	防火ダンパー	鋼板製	告示1369号適合品	
⌀	ベントキャップ	床置全熱交換器用：耐外風形ウェザーカバー 上記以外：アルミ製丸形フード(ガラリ型)		
— — — — —	給水管(屋内一般)	一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448	
— — — — —	給水管(埋設)	(屋内)塩ビライニング鋼管VD、(屋外)ポリエチレン管		
— — — — —	汚水管 雑排水管	ピット内：硬質塩化ビニル管(VP管) 屋内露出：耐火二層管(FDP)	VP: JIS K 6741 ※1	
— — — — —	排水管(土中埋設)	排水用リサイクル硬質塩化ビニル管(RF-VP)	AS 58	
— — — — —	通気管	硬質塩化ビニル管(VP管)	VP: JIS K 6741 ※1	
— — — — —	給湯管	一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448	
— — — — —	仕切弁	JIS 5K, JIS 10K(特記のある部分)		
— — — — —	埋設弁			
— — — — —	逆止弁	JIS 5K		
— — — — —	フレキシブル継手	ステンレス製	消火用は消防(予第199号)認定品とする	
— — — — —	床上掃除口	COA, COB		
— — — — —	床下掃除口	CO		
— — — — —	給水栓			
— — — — —	混合栓	シングルレバー混合水栓		
— — — — —	量水器			
— — — — —	汚水雑排水機			
— — — — —	公共機			
— — — — —	散水栓			
— — — — —	地中埋設標	コンクリート製		
— — — — —	地中埋設標	鉄製		

※1: JIS K 6741(硬質塩化ビニル管(VP))規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの(認定番号: PS060FL-0271)

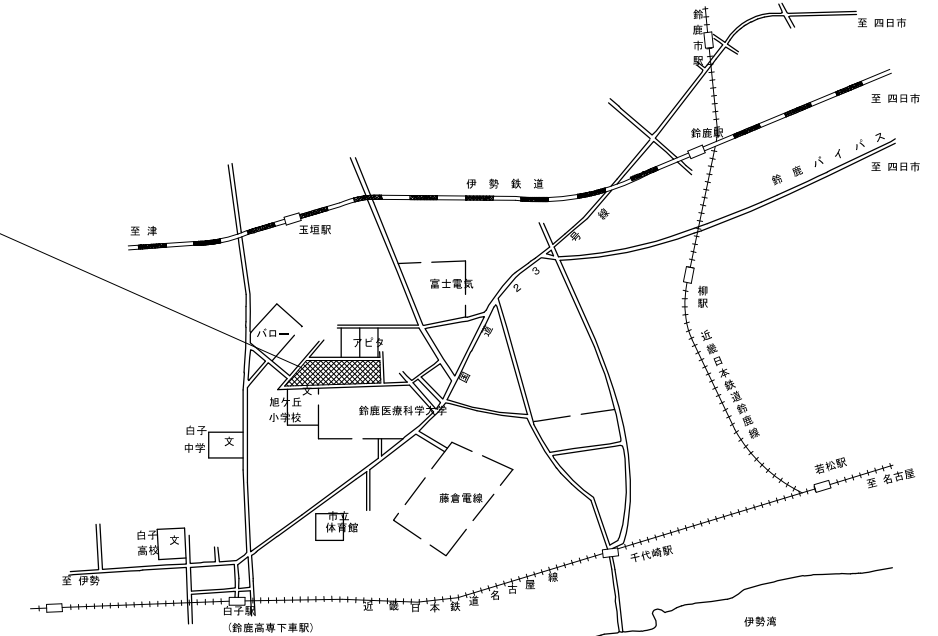
神奈川県横浜市西区平沼1-39-3 三石327C 16階 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15318号		監修 製図		鈴鹿工業高等専門学校 事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 係 員				設計業務名 鈴鹿工業高専学生支援センター改修設備設計業務 工事名称 鈴鹿工業高専学生支援センター改修機械設備工事		図面名称 特記仕様書(3)・凡例		縮 尺 -		日付 平成25年9月 図面番号 特-03 通し番号 No. 04	
--	--	-------	--	---------------------------------------	--	--	--	---	--	---------------------	--	----------	--	---	--

独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校
〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町

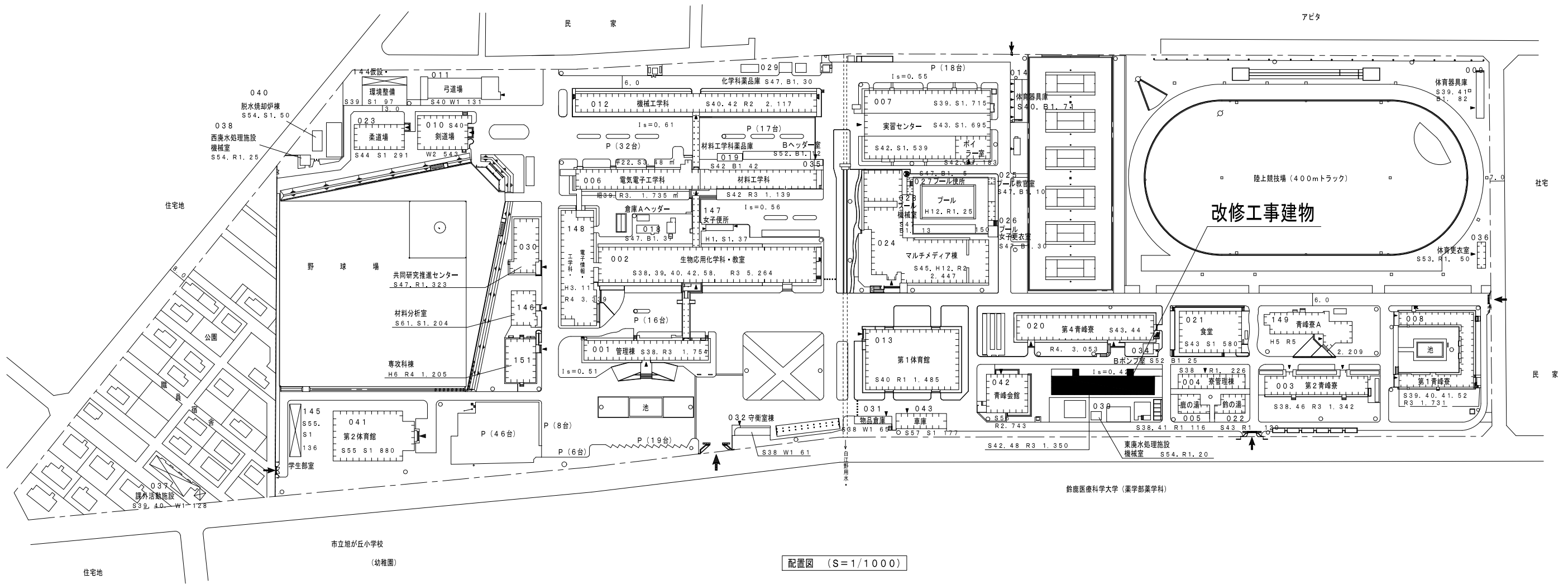


建物関係凡例

凡 例	内 容
	改修工事建物
	将来とも利用する建物
	上記以外の建物



案内図 (S=N. S)



配置図 (S=1/1000)

 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15316号 神奈川県横浜市西区平沼1-39-3 三石307K 40階	鈴鹿工業高等専門学校 事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 係 員				設計業務名 鈴鹿工業高等専学生支援センター改修設備設計業務	図面名称 構内配置図・案内図	縮尺 A1:1/1000, N.S A3:1/2000, N.S	日付 平成25年9月 図面番号 M-02 通し番号 No. 05
	監修 図面	鈴鹿工業高等専学生支援センター改修機械設備工事				鈴鹿工業高等専学生支援センター改修設備設計業務	構内配置図・案内図	縮尺 A1:1/1000, N.S A3:1/2000, N.S

空調設備 機器表 (新設)

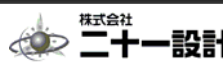
記号	機器名称	仕様	台数	設置場所	電気容量			備考
					Φ	V	kW	
EHP-1	電気ヒートポンプエアコン (屋外機)	形式 : 電気ヒートポンプビル用マルチ屋外機 (30馬力相当) (高効率型) 冷房能力 : 85.0 kW (JIS標準条件) 暖房能力 : 95.0 kW (JIS標準条件) 付属品 : 防振ゴム、基礎ボルト (SUS)、分岐管、その他標準付属品一式	1	屋外	3	200	26.0	コンクリート基礎 (建築工事) 参考重量: 750kg
EHP-1-1	電気ヒートポンプエアコン (室内機)	形式 : 天カセ4方向型 (1.3馬力相当) 冷房能力 : 3.6 kW (JIS標準条件) 暖房能力 : 4.0 kW (JIS標準条件) 送風量 : 540 m ³ /h 付属品 : ワイヤードリモコン、化粧パネル、ドレンアップメカ その他標準付属品一式	5	1F地域交流支援室×5	1	200	0.02	
EHP-1-2	電気ヒートポンプエアコン (室内機)	形式 : 天カセ4方向型 (2.0馬力相当) 冷房能力 : 5.6 kW (JIS標準条件) 暖房能力 : 6.3 kW (JIS標準条件) 送風量 : 900 m ³ /h 付属品 : ワイヤードリモコン、化粧パネル、ドレンアップメカ その他標準付属品一式	8	1F教育プロジェクト企画推進室×3 2Fサイエンス教育支援室×5	1	200	0.03	
EHP-1-3	電気ヒートポンプエアコン (室内機)	形式 : 天カセ4方向型 (2.5馬力相当) 冷房能力 : 7.1 kW (JIS標準条件) 暖房能力 : 8.0 kW (JIS標準条件) 送風量 : 1020 m ³ /h 付属品 : ワイヤードリモコン、化粧パネル、ドレンアップメカ その他標準付属品一式	3	2F創造活動デザイン室×3	1	200	0.05	
EHP-2	電気ヒートポンプエアコン (屋外機)	形式 : 電気ヒートポンプビル用マルチ屋外機 (30馬力相当) (高効率型) 冷房能力 : 85.0 kW (JIS標準条件) 暖房能力 : 95.0 kW (JIS標準条件) 付属品 : 防振ゴム、基礎ボルト (SUS)、分岐管、その他標準付属品一式	1	屋外	3	200	26.0	コンクリート基礎 (建築工事) 参考重量: 750kg
EHP-2-1	電気ヒートポンプエアコン (室内機)	形式 : 天カセ4方向型 (3.0馬力相当) 冷房能力 : 8.0 kW (JIS標準条件) 暖房能力 : 9.0 kW (JIS標準条件) 送風量 : 1260 m ³ /h 付属品 : ワイヤードリモコン、化粧パネル、ドレンアップメカ その他標準付属品一式	7	3F多目的学習支援室 (1)×2 3F多目的学習支援室 (2)×3 3F多目的学習支援室 (3)×2	1	200	0.05	
EHP-2-2	電気ヒートポンプエアコン (室内機)	形式 : 天カセ4方向型 (2.5馬力相当) 冷房能力 : 7.1 kW (JIS標準条件) 暖房能力 : 8.0 kW (JIS標準条件) 送風量 : 1020 m ³ /h 付属品 : ワイヤードリモコン、化粧パネル、ドレンアップメカ その他標準付属品一式	3	3F多目的学習支援室 (4)×3	1	200	0.05	
AC-1	電気ヒートポンプエアコン	形式 : 天カセ4方向ツイン型 (6.0馬力相当) 冷房能力 : 14.0 kW (JIS標準条件) 暖房能力 : 16.0 kW (JIS標準条件) 付属品 : 防振ゴム、RCブロック基礎、基礎ボルトナット (SUS) ドレンアップ、転倒防止金具、ワイヤードリモコン その他標準付属品	1	1F50周年記念ギャラリー (細)	3	200	3.99	
AC-2	ルームエアコン	形式 : 壁掛形 (1.5馬力相当) 冷房能力 : 3.6 kW (JIS標準条件) 暖房能力 : 4.0 kW (JIS標準条件) 付属品 : 防振ゴム、RCブロック基礎、基礎ボルトナット (SUS) 転倒防止金具、ワイヤードリモコン、インターフェイス用ボックス、その他標準付属品	7	1Fセンター長室 (細) 1Fセミナー室1 1Fセミナー室2 2F女性総合サポート室 (2) 3F教員宿泊室 (1) 3F教員宿泊室 (2) 2F女性総合サポート室 (3)	1	100	1.14	
AC-3	電気ヒートポンプエアコン	形式 : 壁掛けシングル形 (4.0馬力相当) 冷房能力 : 10.0 kW (JIS標準条件) 暖房能力 : 11.2 kW (JIS標準条件) 付属品 : 防振ゴム、RCブロック基礎、基礎ボルトナット (SUS) 転倒防止金具、ワイヤードリモコン、その他標準付属品	1	2F女性総合サポート室 (1) (細)	3	200	4.26	
R-1	集中リモコン	形式 : 集中管理リモコン (タッチパネル式)	1	1Fセンター長室	1	100	0.1	

※電気容量は参考値とし、消費電力とする。
※50.4kW以下の機種については、グリーン購入法適合機種とする。

換気設備 機器表 (新設)

記号	機器名称	仕様	台数	設置場所	電気容量			備考
					Φ	V	kW	
HEA-1	全熱交換器	形式 : 壁掛形全熱交換器 (2パイプ方式) 送風量 : 20m ³ /h 付属品 : アルミ製丸形フードギャラリ、給排気パイプ コントロール壁スイッチ (24時間換気機能付)、その他標準付属品一式	1	1Fセンター長室	1	100	0.04	
HEA-2	全熱交換器	形式 : 壁掛形全熱交換器 (2パイプ方式) 送風量 : 60m ³ /h 付属品 : アルミ製丸形フードギャラリ、給排気パイプ コントロール壁スイッチ (24時間換気機能付)、その他標準付属品一式	2	1Fセミナー室1 1Fセミナー室2	1	100	0.04	
HEA-3	全熱交換器	形式 : 壁掛形全熱交換器 (2パイプ方式) 送風量 : 40m ³ /h 付属品 : アルミ製丸形フードギャラリ、給排気パイプ コントロール壁スイッチ (24時間換気機能付)、その他標準付属品一式	4	2F女性総合サポート室 (2) 2F女性総合サポート室 (3) 3F教員宿泊室 (1) 3F教員宿泊室 (2)	1	100	0.04	
HEA-4	全熱交換器	形式 : 床置形全熱交換器 送風量 : 150 m ³ /h x 40 Pa 付属品 : 耐外風形ウエザーカーバー×2、その他標準付属品一式	2	1F50周年記念ギャラリー	1	100	0.15	
HEA-5	全熱交換器	形式 : 床置形全熱交換器 送風量 : 180 m ³ /h x 40 Pa 付属品 : 耐外風形ウエザーカーバー×2、その他標準付属品一式	2	1F教育プロジェクト企画推進室	1	100	0.15	
HEA-6	全熱交換器	形式 : 床置形全熱交換器 送風量 : 220 m ³ /h x 40 Pa 付属品 : 耐外風形ウエザーカーバー×2、その他標準付属品一式	2	1F地域交流支援室	1	100	0.15	
HEA-7	全熱交換器	形式 : 床置形全熱交換器 送風量 : 200 m ³ /h x 40 Pa 付属品 : 耐外風形ウエザーカーバー×2、その他標準付属品一式	1	2F女性総合サポート室 (1)	1	100	0.15	
HEA-8	全熱交換器	形式 : 床置形全熱交換器 送風量 : 280 m ³ /h x 40 Pa 付属品 : 耐外風形ウエザーカーバー×2、その他標準付属品一式	2	2Fサイエンス教育支援室	1	100	0.15	
HEA-9	全熱交換器	形式 : 床置形全熱交換器 送風量 : 300 m ³ /h x 40 Pa 付属品 : 耐外風形ウエザーカーバー×2、その他標準付属品一式	4	2F創造活動デザイン室×2 3F多目的学習支援室 (3)×2	1	100	0.15	
HEA-10	全熱交換器	形式 : 床置形全熱交換器 送風量 : 280 m ³ /h x 40 Pa 付属品 : 耐外風形ウエザーカーバー×2、その他標準付属品一式	2	3F多目的学習支援室 (1)	1	100	0.15	
HEA-11	全熱交換器	形式 : 床置形全熱交換器 送風量 : 370 m ³ /h x 40 Pa 付属品 : 耐外風形ウエザーカーバー×2、その他標準付属品一式	2	3F多目的学習支援室 (4)	1	100	0.15	
HEA-12	全熱交換器	形式 : 床置形全熱交換器 送風量 : 310 m ³ /h x 40 Pa 付属品 : 耐外風形ウエザーカーバー×2、その他標準付属品一式	3	3F多目的学習支援室 (2)	1	100	0.15	
C	コントロールスイッチ	形式 : 床置形全熱交換器用コントロール壁スイッチ 仕様 : 24時間換気機能付	10	1F50周年記念ギャラリー 1F教育プロジェクト企画推進室 1F地域交流支援室 1F女性総合サポート室 (1) 2F女性総合サポート室 (2) 2Fサイエンス教育支援室 2F創造活動デザイン室 3F多目的学習支援室 (1) 3F多目的学習支援室 (2) 3F多目的学習支援室 (3) 3F多目的学習支援室 (4)	-	-	-	

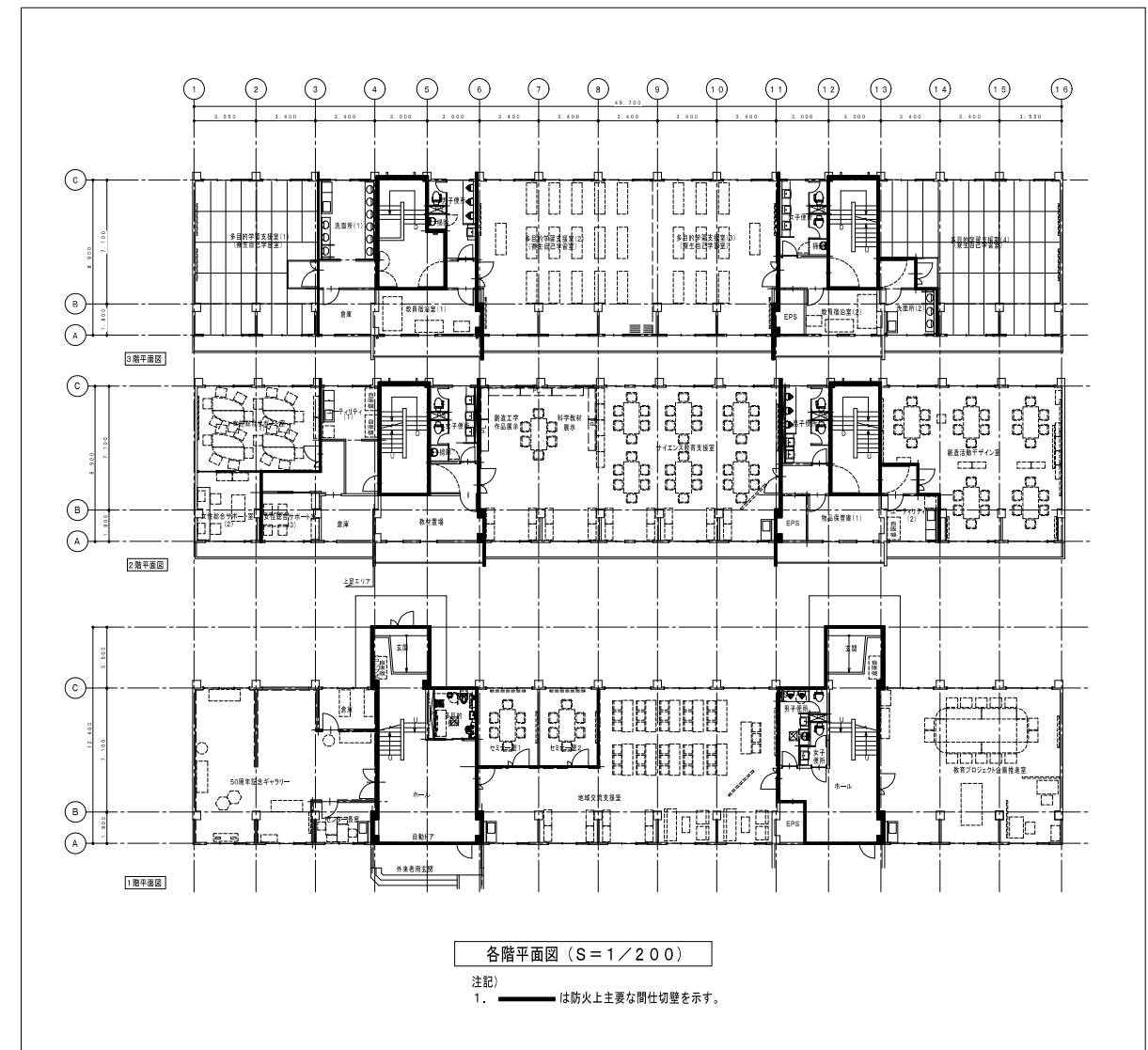
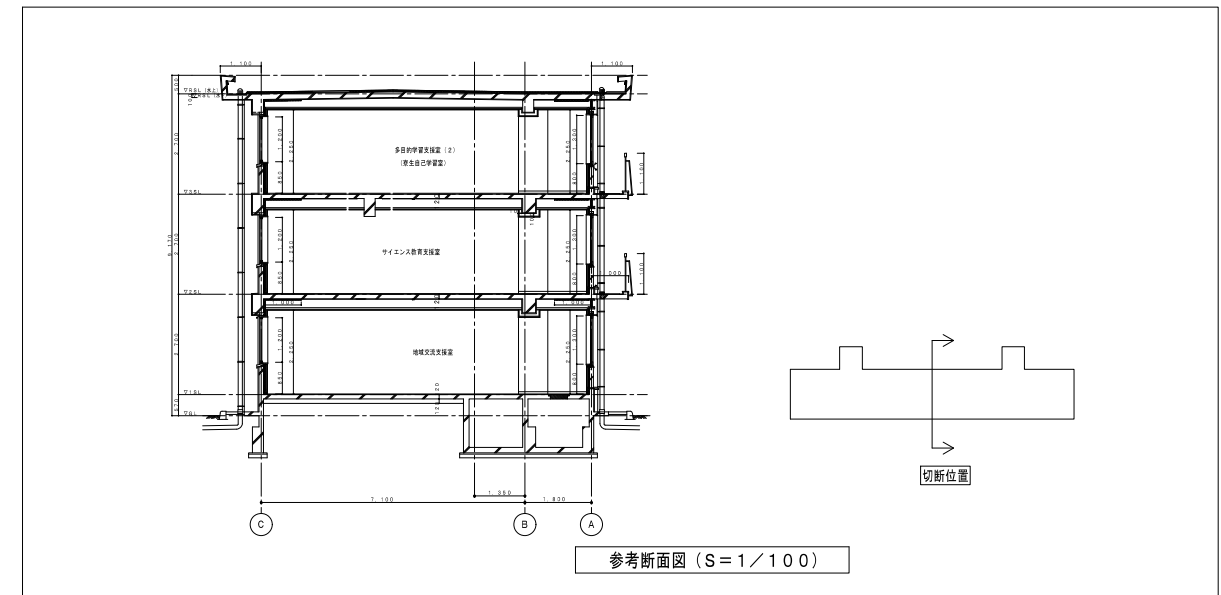
※電気容量は参考値とし、消費電力とする。
※グリーン購入法適合機種とする。

 株式会社 二十一設計 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15316号 神奈川県横浜市西区平沼1-39-3 三石3372 46階	鈴鹿工業高等専門学校 事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 係員	設計業務名 鈴鹿工業高等専門学校学生支援センター改修設備設計業務 工事名称 鈴鹿工業高等専門学校学生支援センター改修機械設備工事	図面名称 改修後 機器表 1	縮尺 -	日付 平成25年9月
					図面番号 M-03

換気設備 機器表 (新設)

記号	機器名称	仕様	台数	設置場所	電気容量			備考
					φ	V	kW	
FE-1	換気扇 (排気用)	形式 : 換気扇、25cm 送風量 : 100 m ³ /h 付属品 : コントロールスイッチ、電気式シャッター、 ウェザーカバー、取付枠、その他標準付属品一式	1	1F倉庫	1	100	0.05	
FE-2	換気扇 (排気用)	形式 : 換気扇、25cm 送風量 : 210 m ³ /h 付属品 : コントロールスイッチ、電気式シャッター、 ウェザーカバー、取付枠、その他標準付属品一式	3	1F多目的便所 2Fユーティリティ(2) 3F洗面所(2)	1	100	0.05	
FE-3	換気扇 (排気用)	形式 : 換気扇、25cm 送風量 : 170 m ³ /h 付属品 : コントロールスイッチ、電気式シャッター、 ウェザーカバー、取付枠、その他標準付属品一式	1	1F男子便所	1	100	0.05	
FE-4	換気扇 (排気用)	形式 : 換気扇、25cm 送風量 : 110 m ³ /h 付属品 : コントロールスイッチ、電気式シャッター、 ウェザーカバー、取付枠、その他標準付属品一式	2	2F倉庫 3F倉庫	1	100	0.05	
FE-5	換気扇 (排気用)	形式 : 換気扇、25cm 送風量 : 180 m ³ /h 付属品 : コントロールスイッチ、電気式シャッター、 ウェザーカバー、取付枠、その他標準付属品一式	1	2F教材置場	1	100	0.05	
FE-6	換気扇 (排気用)	形式 : 換気扇、25cm 送風量 : 130 m ³ /h 付属品 : コントロールスイッチ、電気式シャッター、 ウェザーカバー、取付枠、その他標準付属品一式	1	2F物品保管庫	1	100	0.05	
FE-7	換気扇 (排気用)	形式 : 換気扇、25cm 送風量 : 240 m ³ /h 付属品 : コントロールスイッチ、電気式シャッター、 ウェザーカバー、取付枠、その他標準付属品一式	1	2Fユーティリティ(1)	1	100	0.05	
FE-8	換気扇 (排気用)	形式 : 換気扇、25cm 送風量 : 310 m ³ /h 付属品 : コントロールスイッチ、電気式シャッター、 ウェザーカバー、取付枠、その他標準付属品一式	3	2F女子便所 2F男子便所 3F女子便所	1	100	0.05	
FE-9	換気扇 (排気用)	形式 : 換気扇、25cm 送風量 : 360 m ³ /h 付属品 : コントロールスイッチ、電気式シャッター、 ウェザーカバー、取付枠、その他標準付属品一式	1	3F洗面所(1)	1	100	0.05	
FE-10	換気扇 (排気用)	形式 : 換気扇、25cm 送風量 : 290 m ³ /h 付属品 : コントロールスイッチ、電気式シャッター、 ウェザーカバー、取付枠、その他標準付属品一式	1	3F男子便所	1	100	0.05	
FE-11	天井扇 (排気用)	形式 : 低騒音形天井扇(電気式シャッター) 能力 : 150φ×100 m ³ /h × 60 Pa 付属品 : アルミ製丸形フード、天吊金具、 コントロールスイッチ、その他標準付属品一式	1	1F女子便所	1	100	0.05	

※電気容量は参考値とし、消費電力とする。
※グリーン購入法適合機種とする。



空調設備 機器表 (撤去)

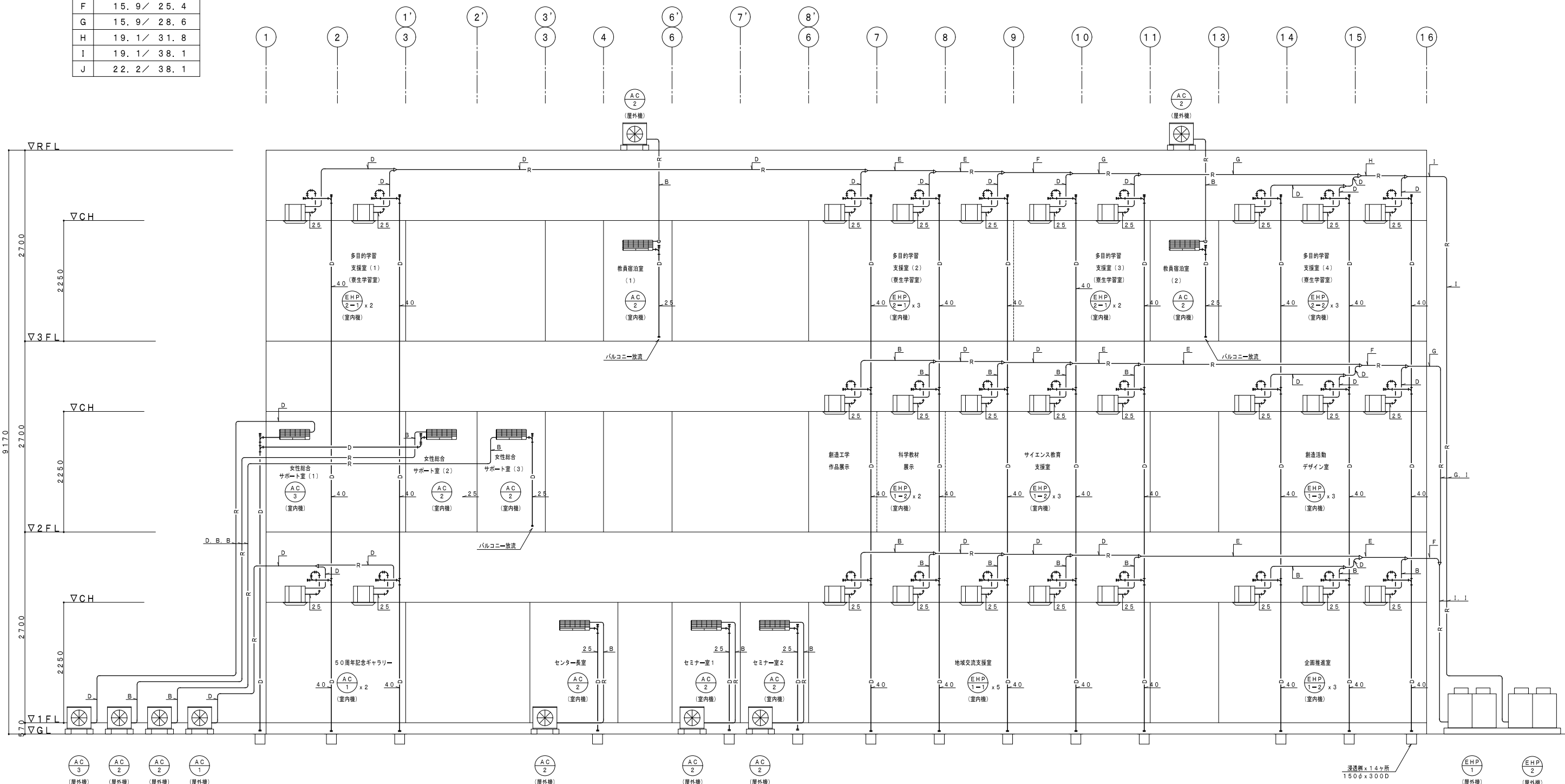
記号	機器名称	仕様	台数	設置場所	電気容量			備考
					Φ	V	kW	
HUF-1	ファンコンベクター	形式 : 蒸気式ファンコンベクター (床置自立形) 放熱量 : 2.61kW ケーシング寸法 : 600×220×700 タッピング : 20×15	4	2F 談話室×4	-	-	-	
HUF-2	ファンコンベクター	形式 : 蒸気式ファンコンベクター (床置自立形) 放熱量 : 3.06kW ケーシング寸法 : 700×220×700 タッピング : 20×15	10	1F 談話室×4 1F 週番室×1 1F 寮母室×1 3F 談話室×4	-	-	-	
HUF-3	ファンコンベクター	形式 : 蒸気式ファンコンベクター (床置自立形) 放熱量 : 3.65kW ケーシング寸法 : 1000×170×500 タッピング : 20×15	4	2F 勉強室×4	-	-	-	
HUF-4	ファンコンベクター	形式 : 蒸気式ファンコンベクター (床置自立形) 放熱量 : 4.60kW ケーシング寸法 : 1000×220×700 タッピング : 20×15	2	1F 静養室 2F 勉強室	-	-	-	
HUF-5	ファンコンベクター	形式 : 蒸気式ファンコンベクター (床置自立形) 放熱量 : 4.31kW ケーシング寸法 : 1200×170×500 タッピング : 20×15	7	1F 勉強室×4 3F 勉強室×3	-	-	-	
HUF-6	ファンコンベクター	形式 : 蒸気式ファンコンベクター (床置自立形) 放熱量 : 4.75kW ケーシング寸法 : 1300×170×500 タッピング : 20×15	6	2F 勉強室×4 3F 勉強室×2	-	-	-	
HUF-7	ファンコンベクター	形式 : 蒸気式ファンコンベクター (床置自立形) 放熱量 : 5.08kW ケーシング寸法 : 1400×170×500 タッピング : 20×15	3	1F 勉強室×2 1F 寮監室	-	-	-	
HUF-8	ファンコンベクター	形式 : 蒸気式ファンコンベクター (床置自立形) 放熱量 : 5.52kW ケーシング寸法 : 1600×170×500 タッピング : 25×15	4	3F 勉強室×4	-	-	-	
HUF-9	ファンコンベクター	形式 : 蒸気式ファンコンベクター (床置自立形) 放熱量 : 6.05kW ケーシング寸法 : 1800×170×500 タッピング : 25×15	1	2F 勉強室	-	-	-	
HUF-10	ファンコンベクター	形式 : 蒸気式ファンコンベクター (床置自立形) 放熱量 : 7.40kW ケーシング寸法 : 2000×170×500 タッピング : 25×15	4	1F 勉強室 2F 勉強室 3F 勉強室×2	-	-	-	
AC-1	ルームエアコン	形式 : ルームエアコン、室内機壁掛形 冷房能力 : 2.2kW 暖房能力 : 2.5kW 付属品 : 標準付属品一式	1	1F 談話室	1	100	0.8	

換気設備 機器表 (撤去)

記号	機器名称	仕様	台数	設置場所	電気容量			備考
					Φ	V	kW	
FE-1	換気扇 (排気用)	形式 : 換気扇、25cm 付属品 : 標準付属品一式	6	1 FWC×2 2 FWC×2 3 FWC×2	1	100	0.1	

冷媒配管サイズ表(参考)

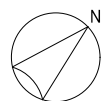
記号	液 / ガス
A	6.4 / 9.5
B	6.4 / 12.7
C	9.5 / 12.7
D	9.5 / 15.9
E	12.7 / 22.2
F	15.9 / 25.4
G	15.9 / 28.6
H	19.1 / 31.8
I	19.1 / 38.1
J	22.2 / 38.1



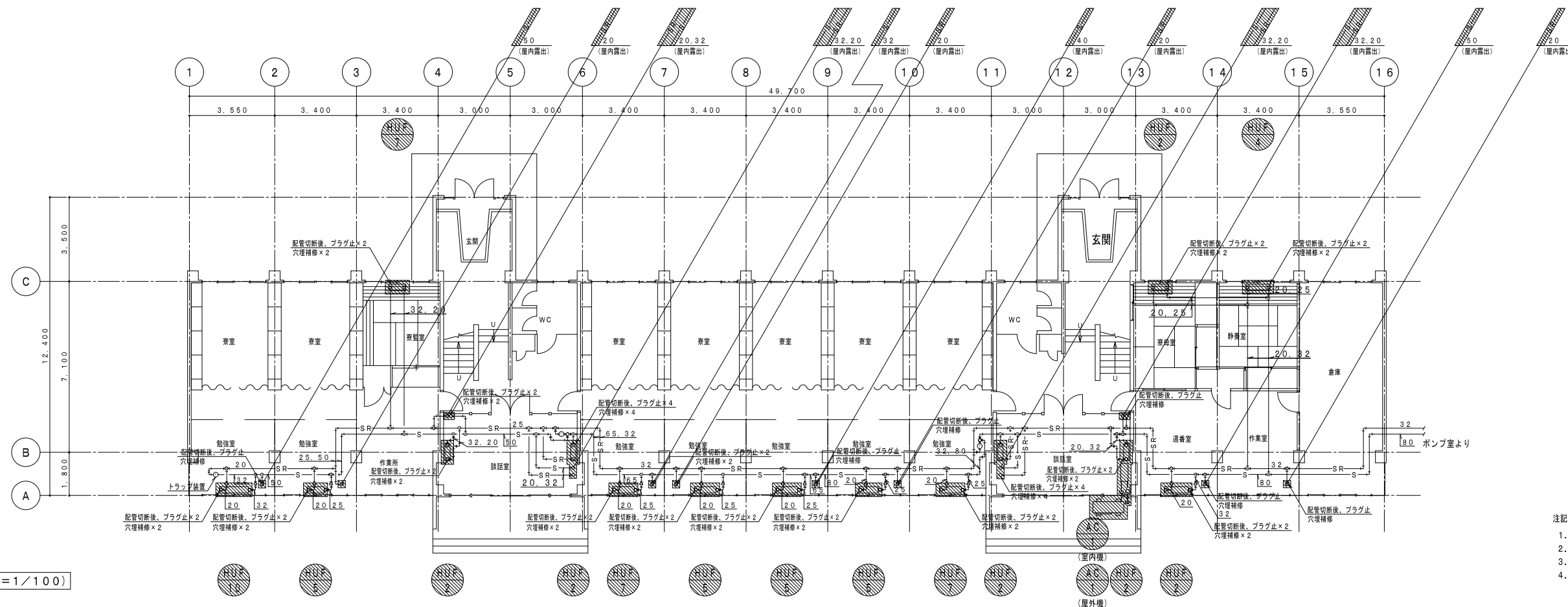
空調配管系統図 (S=N. S)

- 注記
1. EHP系統の内外渡り線 (EM-CEE1. 2.5-2C) は冷媒管共巻とする。
 2. AC-1, 3系統の室内機電源線 (EM-EEF3. 0-2C) は冷媒管共巻とする。
 3. AC-2系統の屋外機電源線 (EM-EEF3. 0-2C) は冷媒管共巻とする。
 4. 冷媒配管口径は参考値とする。

<p>株式会社 二十一設計 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15316号</p>	神奈川県横浜市西区平沼1-39-3 三石3rdF 46階 監督 関園	鈴鹿工業高等専門学校 事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 係員					設計業務名 鈴鹿工業高等専学生支援センター改修設備設計業務	図面名称 空調配管系統図	縮尺 -	日付 平成25年9月
		工事名称 鈴鹿工業高等専学生支援センター改修機械設備工事					図面番号 M-06	通し番号 No. 09		



改修前



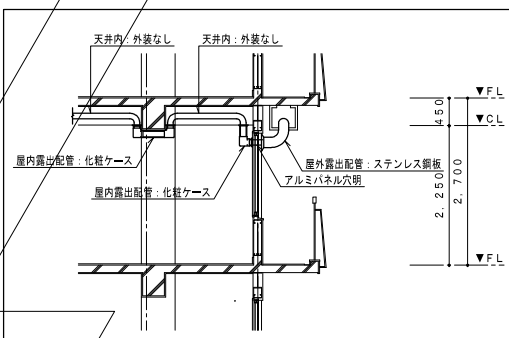
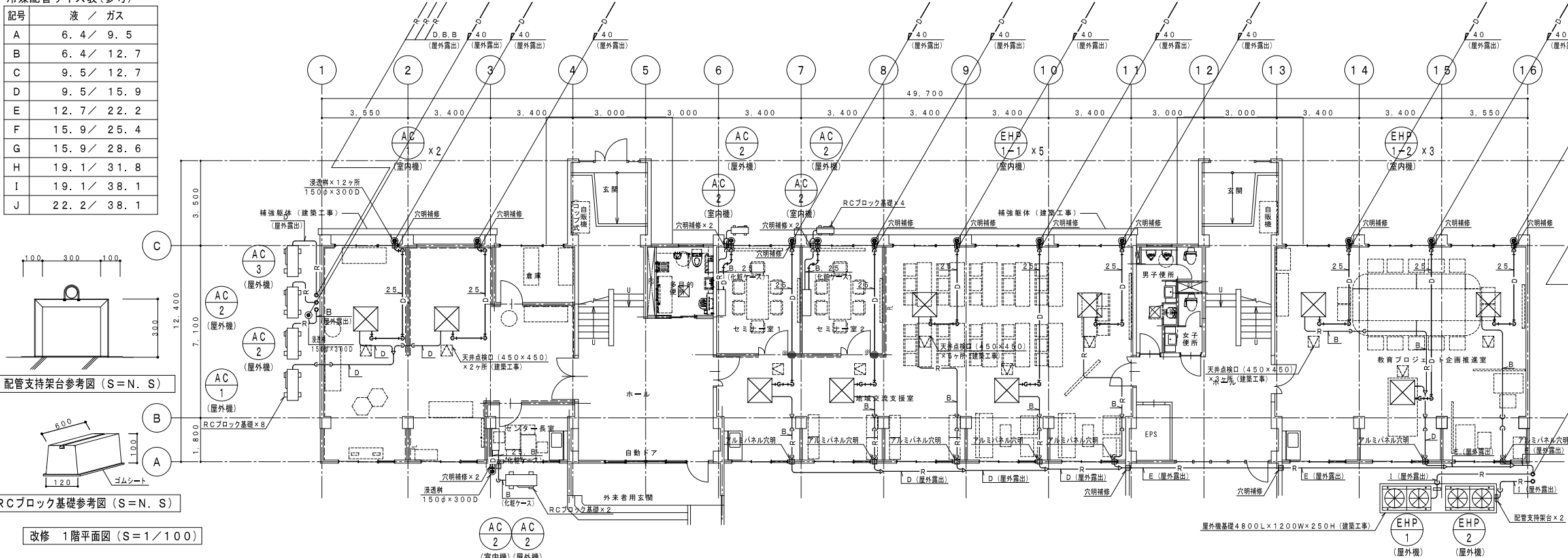
- 注記)
1. 特記なき配管はビット内配管とする。
 2. は撤去を示す。
 3. 撤去後の残置配管端部はプラグ止め等の処理を施す。
 4. 撤去配管に付随する弁類は全て撤去する。

既設 1階平面図 (S=1/100)

冷媒配管サイズ表(参考)

記号	液 / ガス
A	6.4 / 9.5
B	6.4 / 12.7
C	9.5 / 12.7
D	9.5 / 15.9
E	12.7 / 22.2
F	15.9 / 25.4
G	15.9 / 28.6
H	19.1 / 31.8
I	19.1 / 38.1
J	22.2 / 38.1

改修後



冷媒配管部分詳細図 (S=N, S)

- 注記)
1. 特記なき配管は天井内配管とする。
 2. は穴埋補修を示す。
 3. EHP系統の内張り線 (EM-CEE1.25-2C) は冷媒管共巻きとする。
 4. AC-1, 3系統の室内機電源線 (EM-EEF3.0-2C) は冷媒管共巻きとする。
 5. AC-2系統の屋外機電源線 (EM-EEF3.0-2C) は冷媒管共巻きとする。
 6. 冷媒配管口径は参考値とする。
 7. は防火区画貫通処理を示す。
 8. (天井点検口450x450) は建築工事とする。
 9. 屋外機基礎は建築工事とする。

改修 1階平面図 (S=1/100)

配管支持架台参考図 (S=N, S)

RCブロック基礎参考図 (S=N, S)



神奈川県横浜市西区平沼1-39-3
三石3rdFL 46階

鈴鹿工業高等専門学校
事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 係員

設計業務名
鈴鹿工業高等専学生支援センター改修設備設計業務

工事名称
鈴鹿工業高等専学生支援センター改修機械設備工事

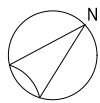
図面名称
改修・前 空調設備1階配管平面図

縮尺
A1:1/100
A3:1/200

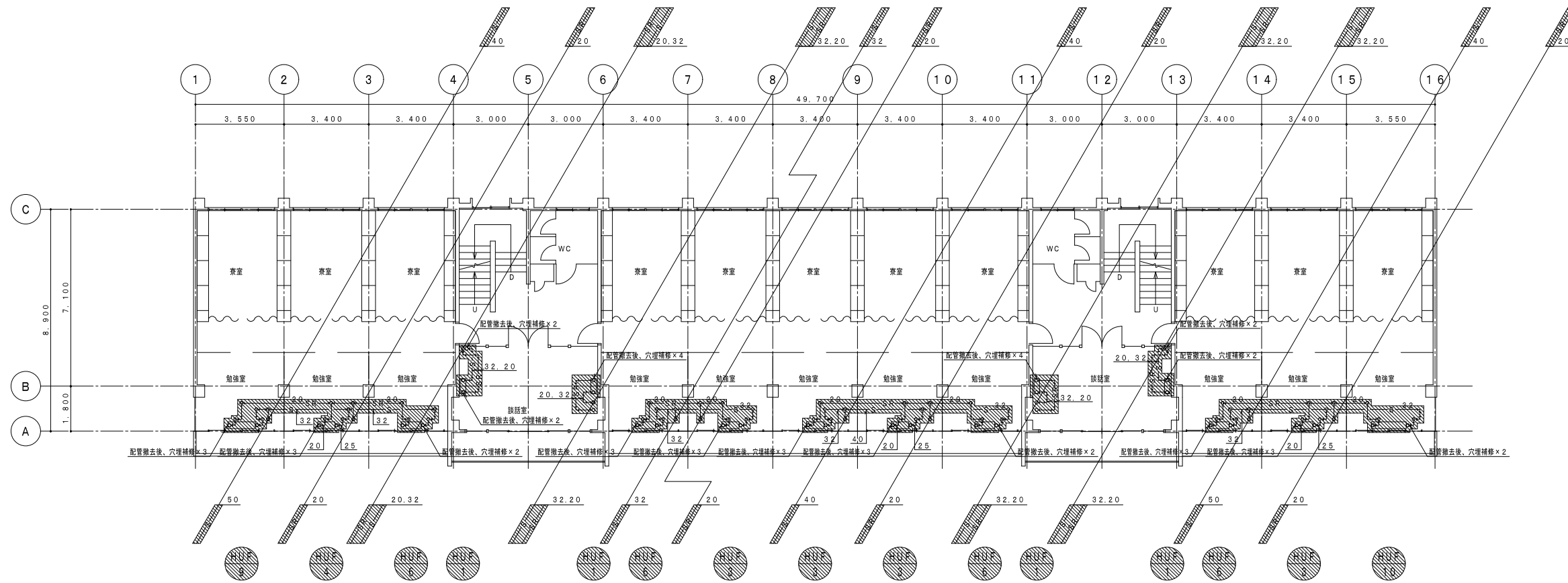
日付
平成25年9月

図面番号
M-07

通し番号
No. 10



改修前



既設 2階平面図 (S=1/100)

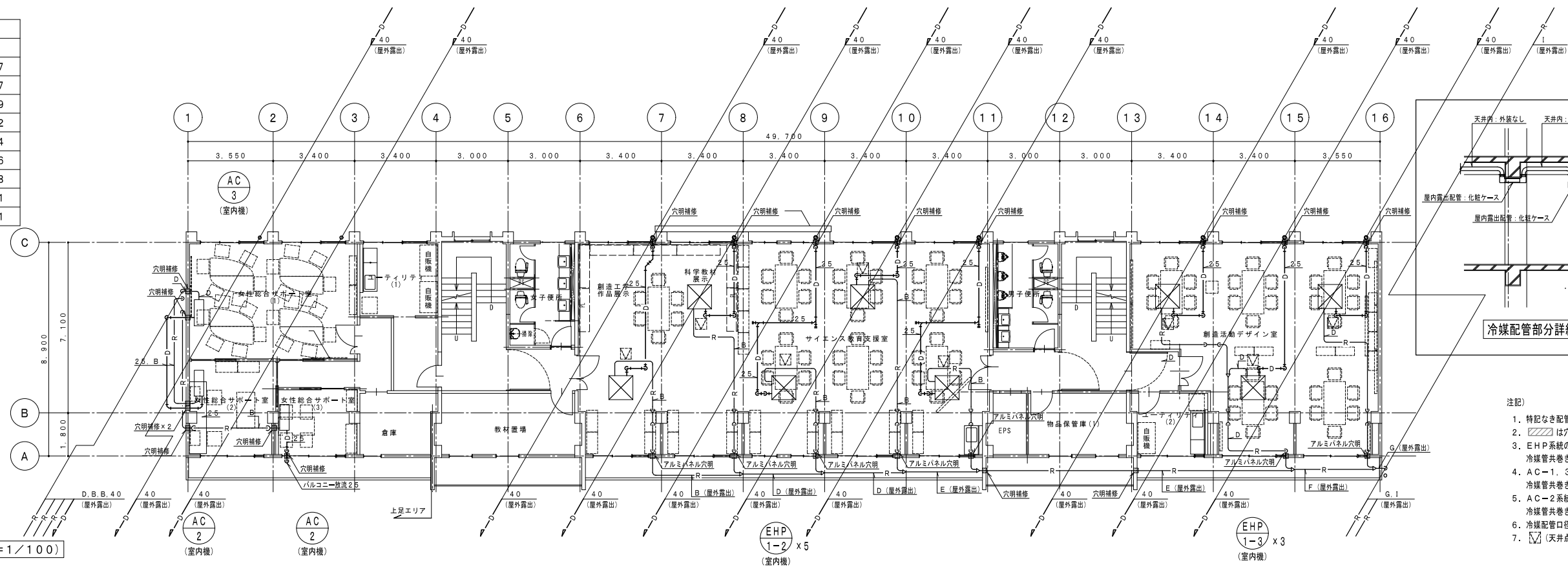
注記

1. 特記なき配管は屋内露出配管とする。
2. は撤去を示す。
3. 撤去後の残置配管端部はプラグ止め等の処理を施す。
4. 撤去配管に付随する弁類は全て撤去する。

冷媒配管サイズ表(参考)

記号	液 / ガス
A	6.4 / 9.5
B	6.4 / 12.7
C	9.5 / 12.7
D	9.5 / 15.9
E	12.7 / 22.2
F	15.9 / 25.4
G	15.9 / 28.6
H	19.1 / 31.8
I	19.1 / 38.1
J	22.2 / 38.1

改修後



改修 2階平面図 (S=1/100)

冷媒配管部分詳細図 (S=N, S)

注記

1. 特記なき配管は天井内配管とする。
2. は穴明補修を示す。
3. EHP系統の内外渡り線 (EM-CEE1.25-2C) は冷媒管共巻きとする。
4. AC-1, 3系統の室内機電源線 (EM-EEF3.0-2C) は冷媒管共巻きとする。
5. AC-2系統の屋外機電源線 (EM-EEF3.0-2C) は冷媒管共巻きとする。
6. 冷媒配管口径は参考値とする。
7. (天井点検口450x450) は建築工事とする。

株式会社 二十一設計

一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15316号

鈴鹿工業高等専門学校
神奈川県横浜市西区平沼1-39-3
三石3丁目46番

事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	係員
------	------	------	------	----

設計業務名
鈴鹿工業高等専門学校改修設備設計業務

工事名称
鈴鹿工業高等専門学校改修機械設備工事

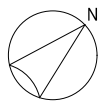
図面名称
改修後・前 空調設備2階配管平面図

縮尺
A1:1/100
A3:1/200

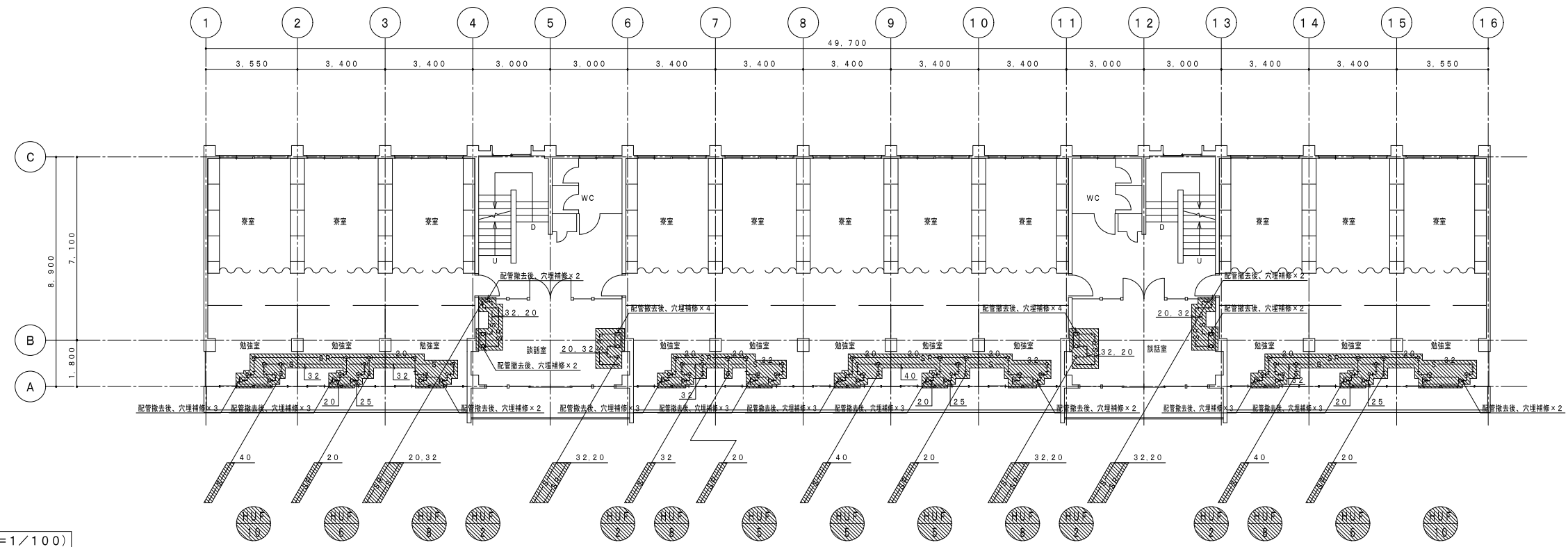
日付
平成25年9月

図面番号
M-08

通し番号
No. 11



改修前



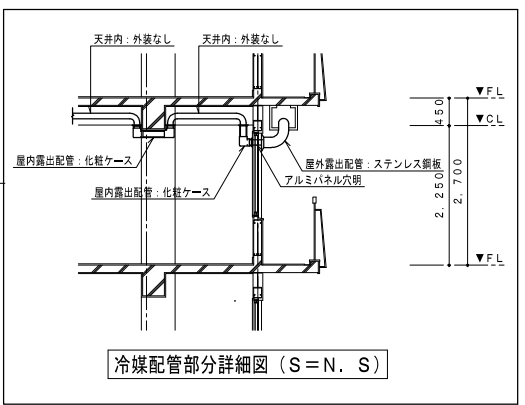
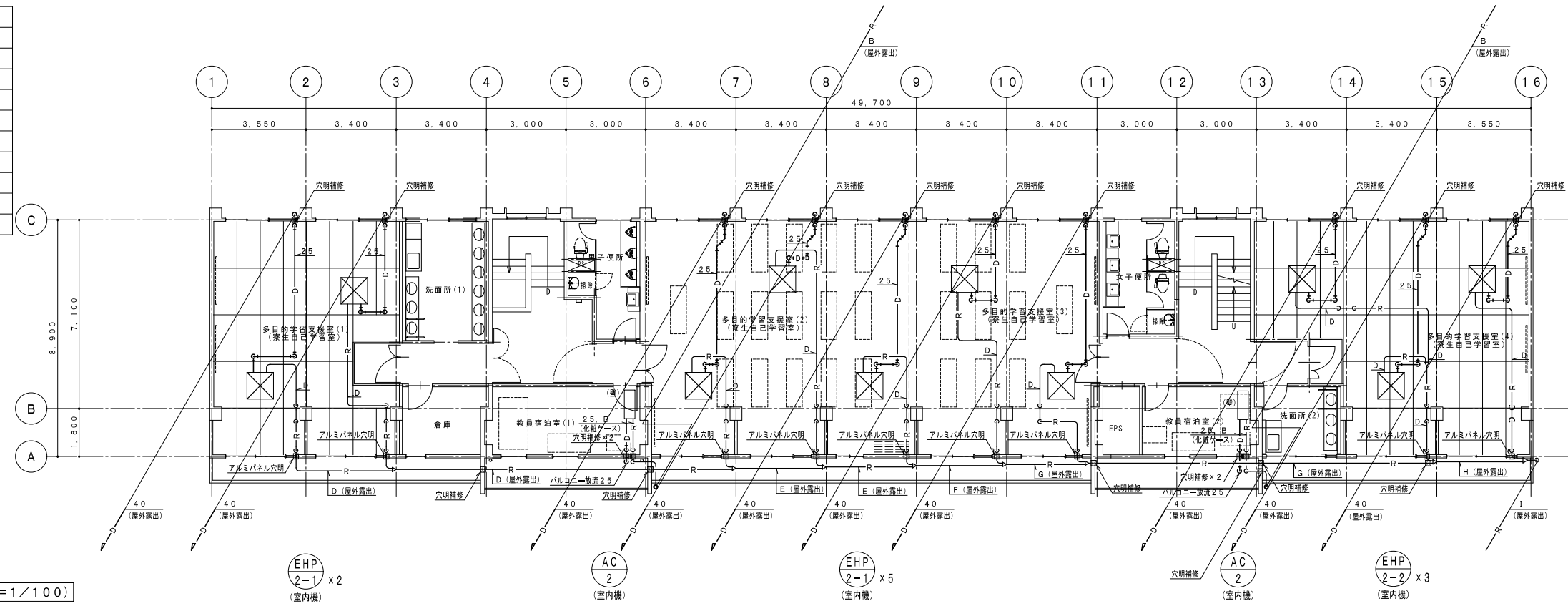
- 注記
1. 特記なき配管は屋内露出配管とする。
 2. は撤去を示す。
 3. 撤去後の残留配管端部はプラグ止め等の処理を施す。
 4. 撤去配管に付随する弁類は全て撤去する。

既設 3階平面図 (S=1/100)

冷媒配管サイズ表(参考)

記号	液 / ガス
A	6.4 / 9.5
B	6.4 / 12.7
C	9.5 / 12.7
D	9.5 / 15.9
E	12.7 / 22.2
F	15.9 / 25.4
G	15.9 / 28.6
H	19.1 / 31.8
I	19.1 / 38.1
J	22.2 / 38.1

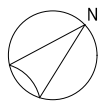
改修後



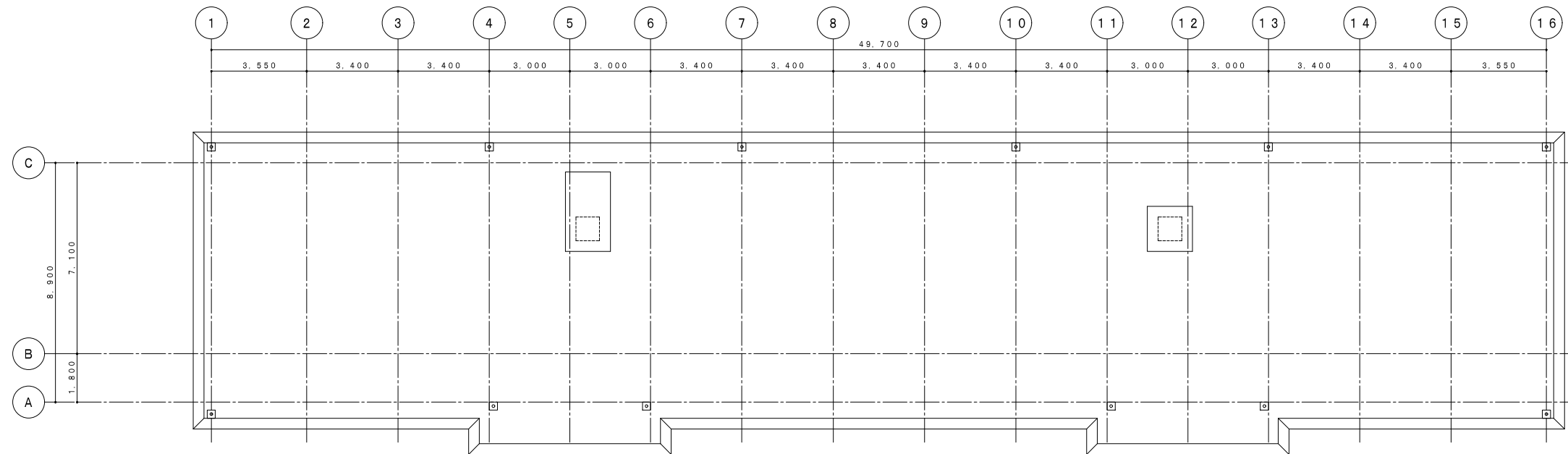
冷媒配管部分詳細図 (S=N, S)

- 注記
1. 特記なき配管は天井内配管とする。
 2. は穴明補修を示す。
 3. EHP系統の内渡り線 (EM-CEE1. 25-2C) は冷媒管共巻きとする。
 4. AC-1, 3系統の室内機電源線 (EM-EEF3. 0-2C) は冷媒管共巻きとする。
 5. AC-2系統の屋外機電源線 (EM-EEF3. 0-2C) は冷媒管共巻きとする。
 6. 冷媒配管口径は参考値とする。
 7. (天井点検口450x450) は建築工事とする。

改修 3階平面図 (S=1/100)

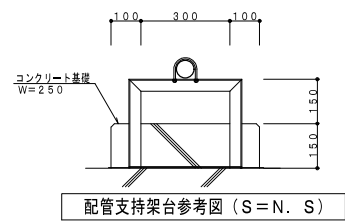


改修前

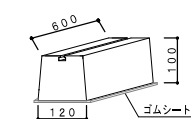


既設 R階平面図 (S=1/100)

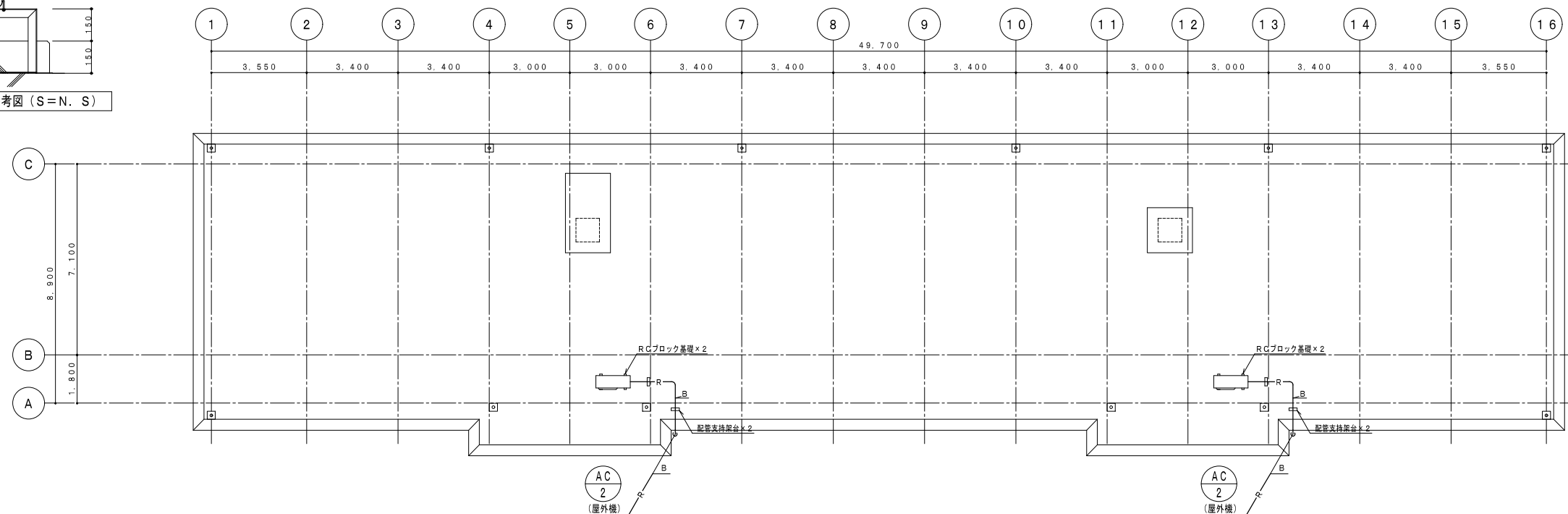
改修後



配管支持架台参考図 (S=N, S)



RCブロック基礎参考図 (S=N, S)



改修 R階平面図 (S=1/100)

冷媒配管サイズ表 (参考)

記号	液 / ガス
A	6.4 / 9.5
B	6.4 / 12.7
C	9.5 / 12.7
D	9.5 / 15.9
E	12.7 / 22.2
F	15.9 / 25.4
G	15.9 / 28.6
H	19.1 / 31.8
I	19.1 / 38.1
J	22.2 / 38.1

注記)

1. 特記なき配管は屋外露出配管とする。
2. 室内機電源線は冷媒管共巻とする。
3. 冷媒配管口径は参考値とする。
4. AC-2系統の屋外機電源線 (EM-EEF3.0-2C) は冷媒管共巻とする。



一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15316号

神奈川県横浜市西区平沼1-39-3
三石3074 46階

鈴鹿工業高等専門学校				
事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	係員

設計業務名
鈴鹿工業高専学生支援センター改修設備設計業務
工事名称
鈴鹿工業高専学生支援センター改修機械設備工事

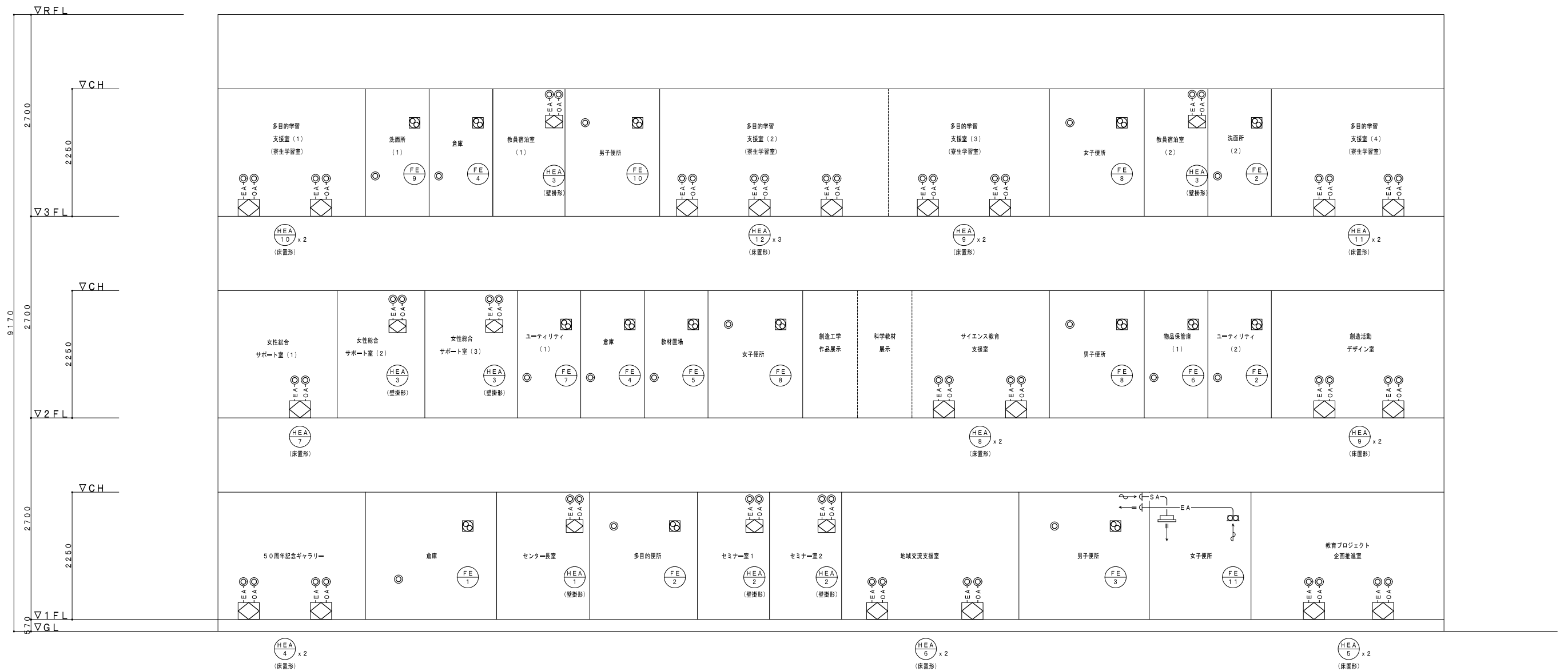
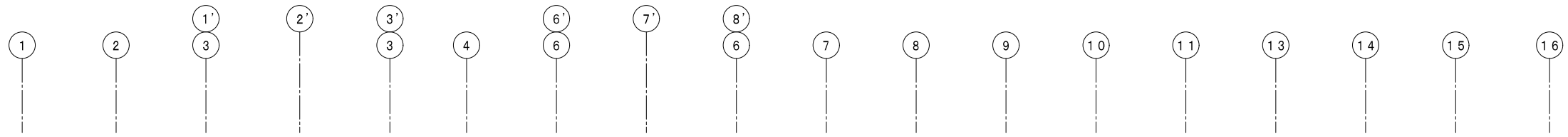
図面名称
改修・前 空調設備屋上配管平面図

縮尺
A1:1/100
A3:1/200

日付
平成25年9月
図面番号
M-10
通し番号
No. 13

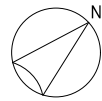
凡例

記号	名称
	全熱交換器
	換気扇
	天井扇
	ペントキャップ
	排気口

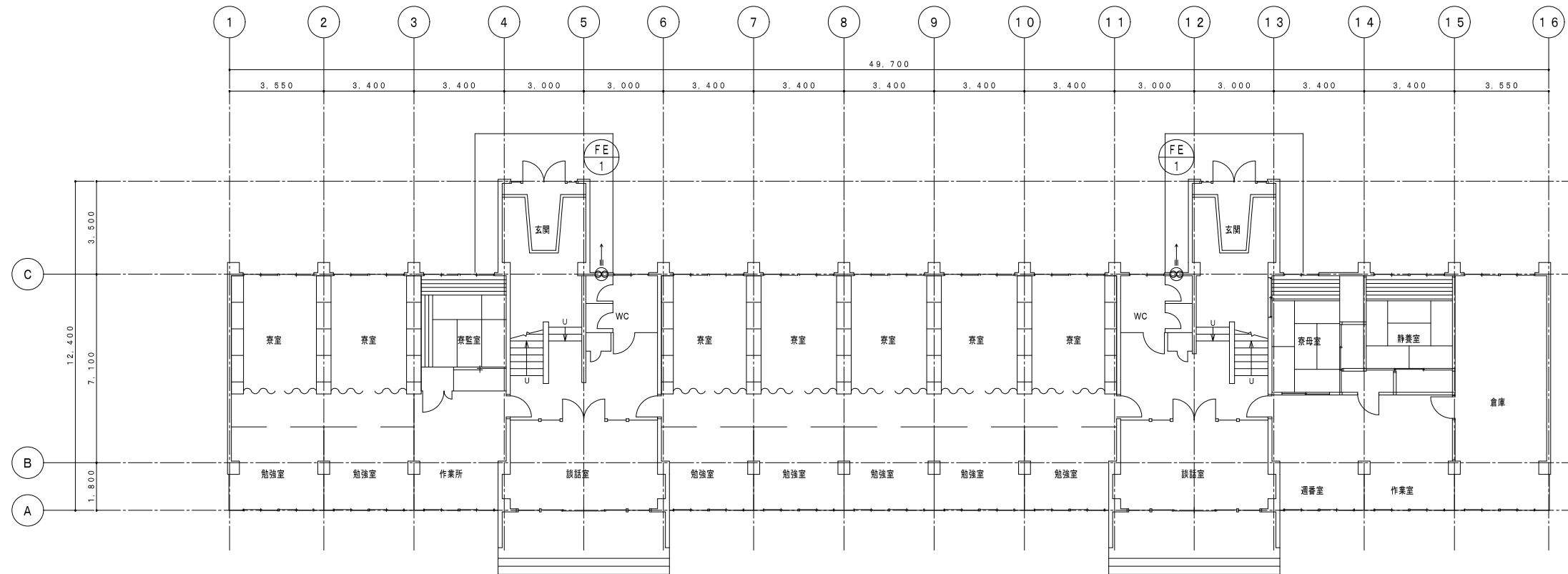


換気設備系統図 (S=N, S)

 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15316号 神奈川県横浜市西区平沼1-39-3 三石ビル406号	鈴鹿工業高等専門学校 事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 係員		設計業務名 鈴鹿工業高専学生支援センター改修設備設計業務	図面名称 換気設備系統図	日付 平成25年9月
	監修 図面	工事名称 鈴鹿工業高専学生支援センター改修機械設備工事	図面番号 M-11	通し番号 No. 14	縮尺 -



改修前



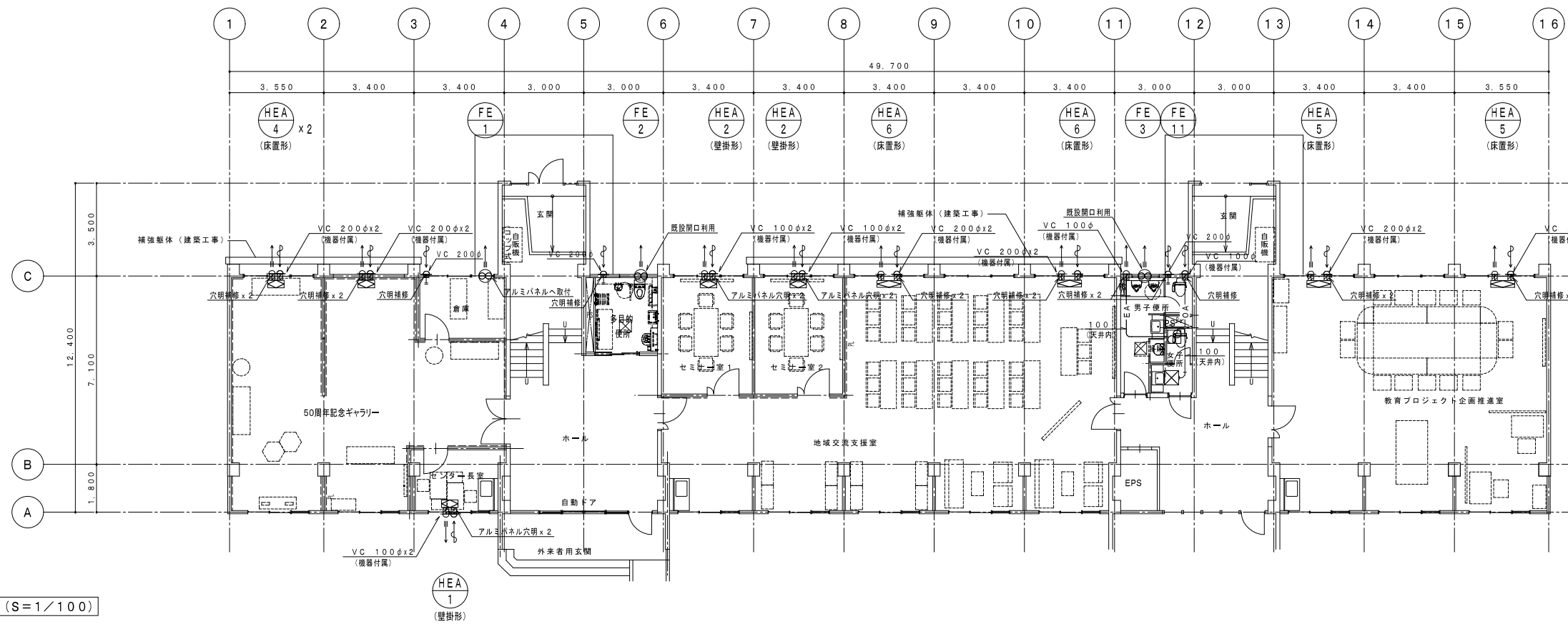
既設 1階平面図 (S=1/100)

注記) 1. ——— は撤去を示す。

改修後

多目的便所	
OA 吹出口グリル 200φ	1

倉庫	
OA 吹出口グリル 200φ	1



改修 1階平面図 (S=1/100)

男子便所	
OA 吹出口グリル 200φ	1

女子便所	
VHS 150x150	
OA Q=100 CMH 1	
80x100x300x300 (内貼GW25t)	

注記) 1. は穴明補修を示す。



一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15316号

神奈川県横浜市西区平沼1-39-3 三石3rdFL 46階

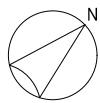
監修 製図

鈴鹿工業高等専門学校				
事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	係員

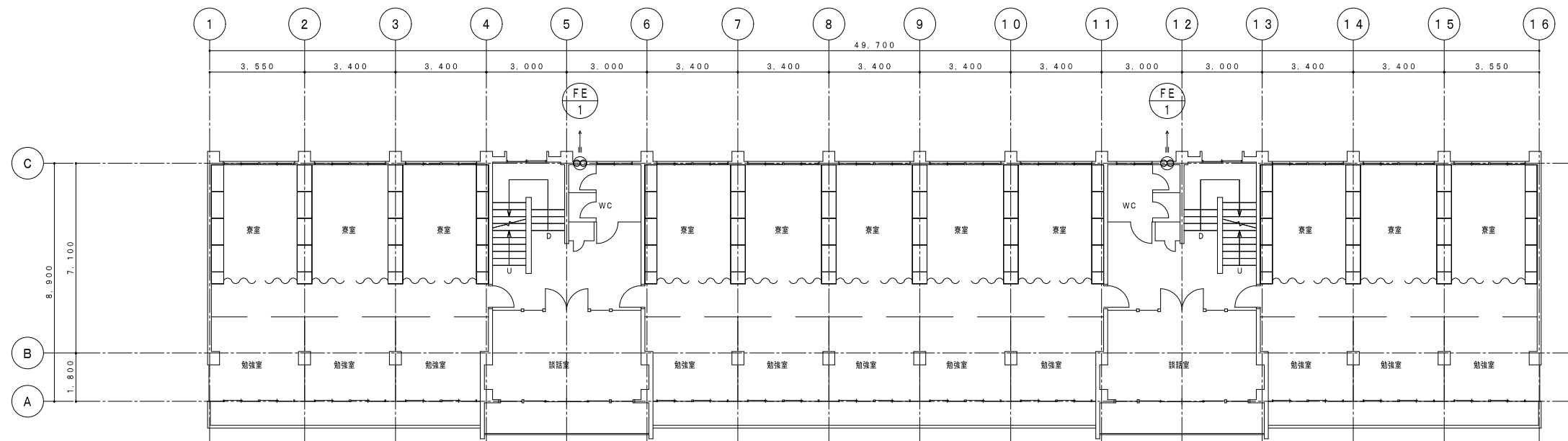
設計業務名	鈴鹿工業高等専学生支援センター改修設備設計業務
工事名称	鈴鹿工業高等専学生支援センター改修機械設備工事

図面名称	改修後・前 換気設備1階ダクト平面図
------	--------------------

縮尺	A1:1/100 A3:1/200
日付	平成25年9月
図面番号	M-12
通し番号	No. 15



改修前



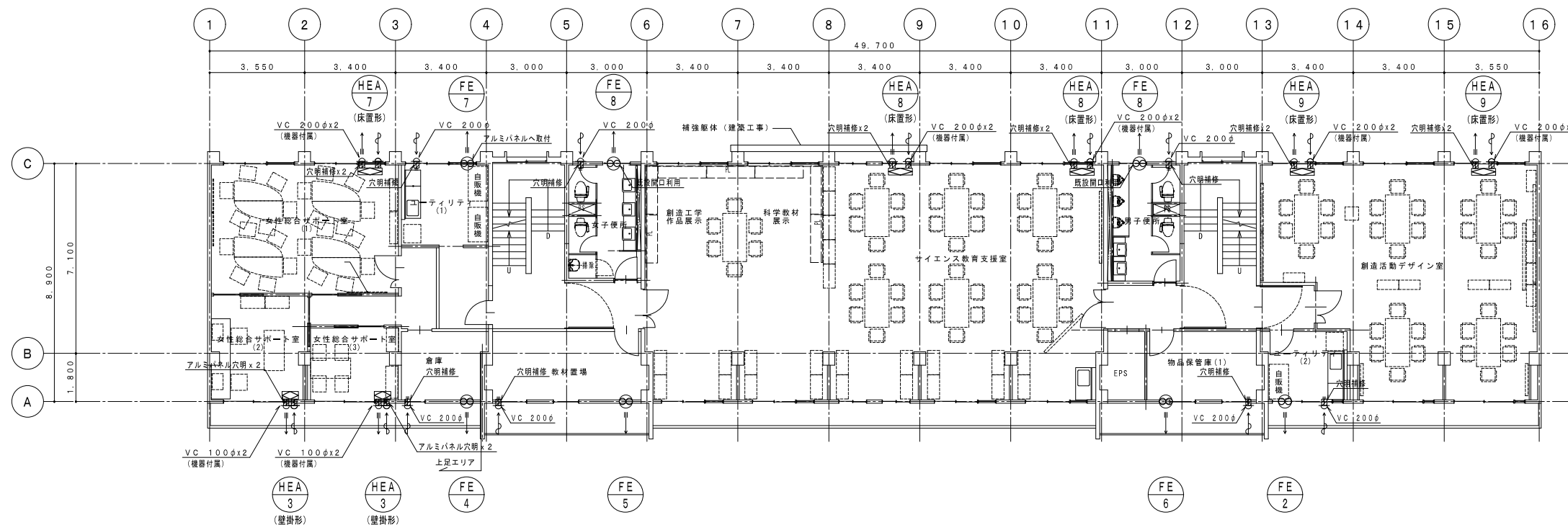
既設 2階平面図 (S=1/100)

注記

1. ——— は撤去を示す。

改修後

ユーティリティ (1)	
OA	吹出口グリル 200φ 1
倉庫	
OA	吹出口グリル 200φ 1
教材置場	
OA	吹出口グリル 200φ 1
女子便所	
OA	吹出口グリル 200φ 1



ユーティリティ (2)	
OA	吹出口グリル 200φ 1
物品保管庫 (1)	
OA	吹出口グリル 200φ 1
男子便所	
OA	吹出口グリル 200φ 1

改修 2階平面図 (S=1/100)

注記

1. は穴明補修を示す。



一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15316号

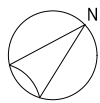
神奈川県横浜市西区平沼1-39-3
三石3rdFL 46階

鈴鹿工業高等専門学校				
事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	係 員

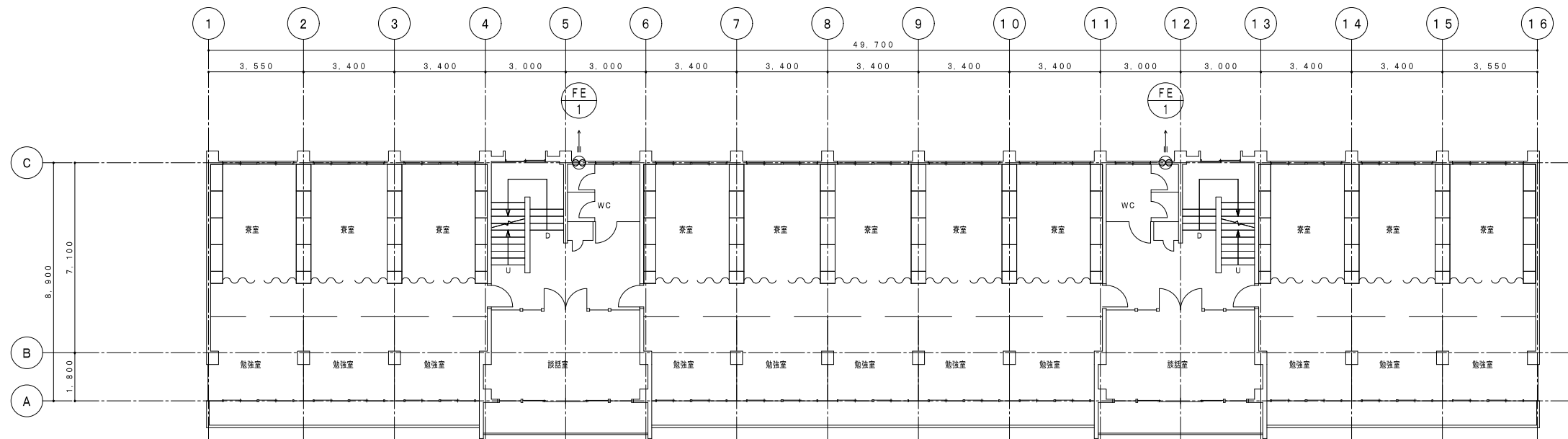
設計業務名	鈴鹿工業高等専学生支援センター改修設備設計業務
工事名称	鈴鹿工業高等専学生支援センター改修機械設備工事

図面名称	改修後・前 換気設備2階ダクト平面図
------	--------------------

縮尺	日付
A1:1/100	平成25年9月
A3:1/200	図面番号
	M-13
	通し番号
	No. 16



改修前



既設 3階平面図 (S=1/100)

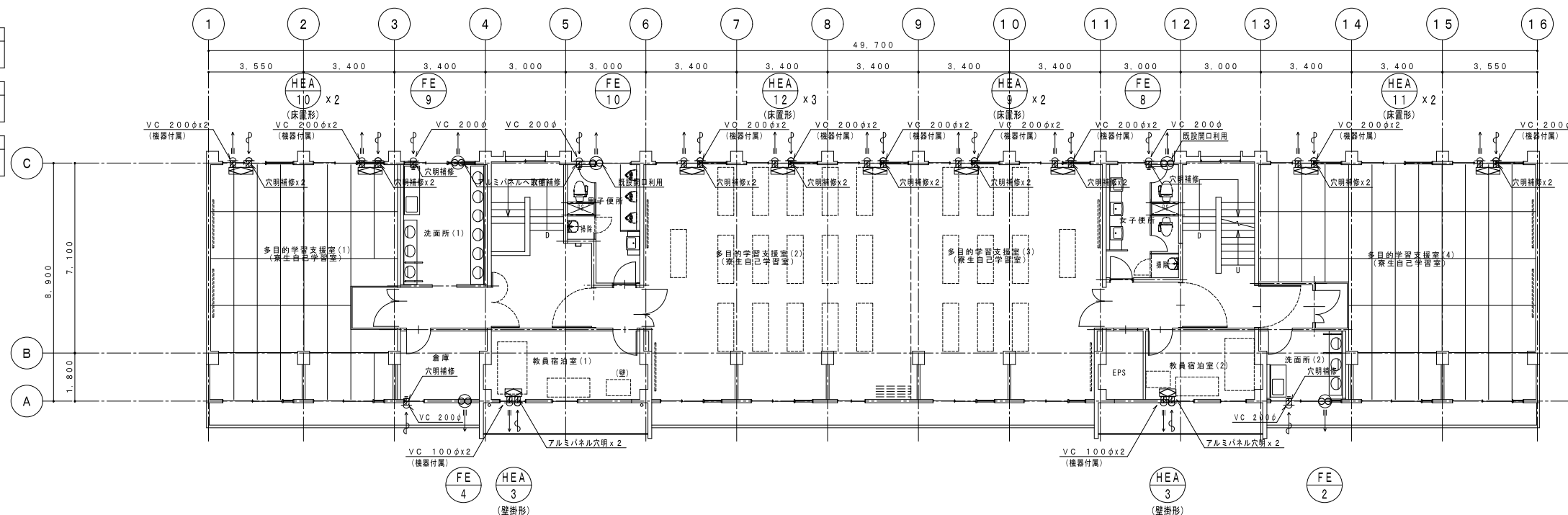
注記
1. ——— は撤去を示す。

改修後

洗面所 (1)	
OA	200φ
	1

倉庫	
OA	200φ
	1

男子便所	
OA	200φ
	1



改修 3階平面図 (S=1/100)

洗面所 (2)	
OA	200φ
	1

女子便所	
OA	200φ
	1

注記
1. ▨ は穴明補修を示す。



一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15316号

神奈川県横浜市西区平沼1-39-3
三石3a7c'46階

監修 製図

鈴鹿工業高等専門学校				
事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	係員

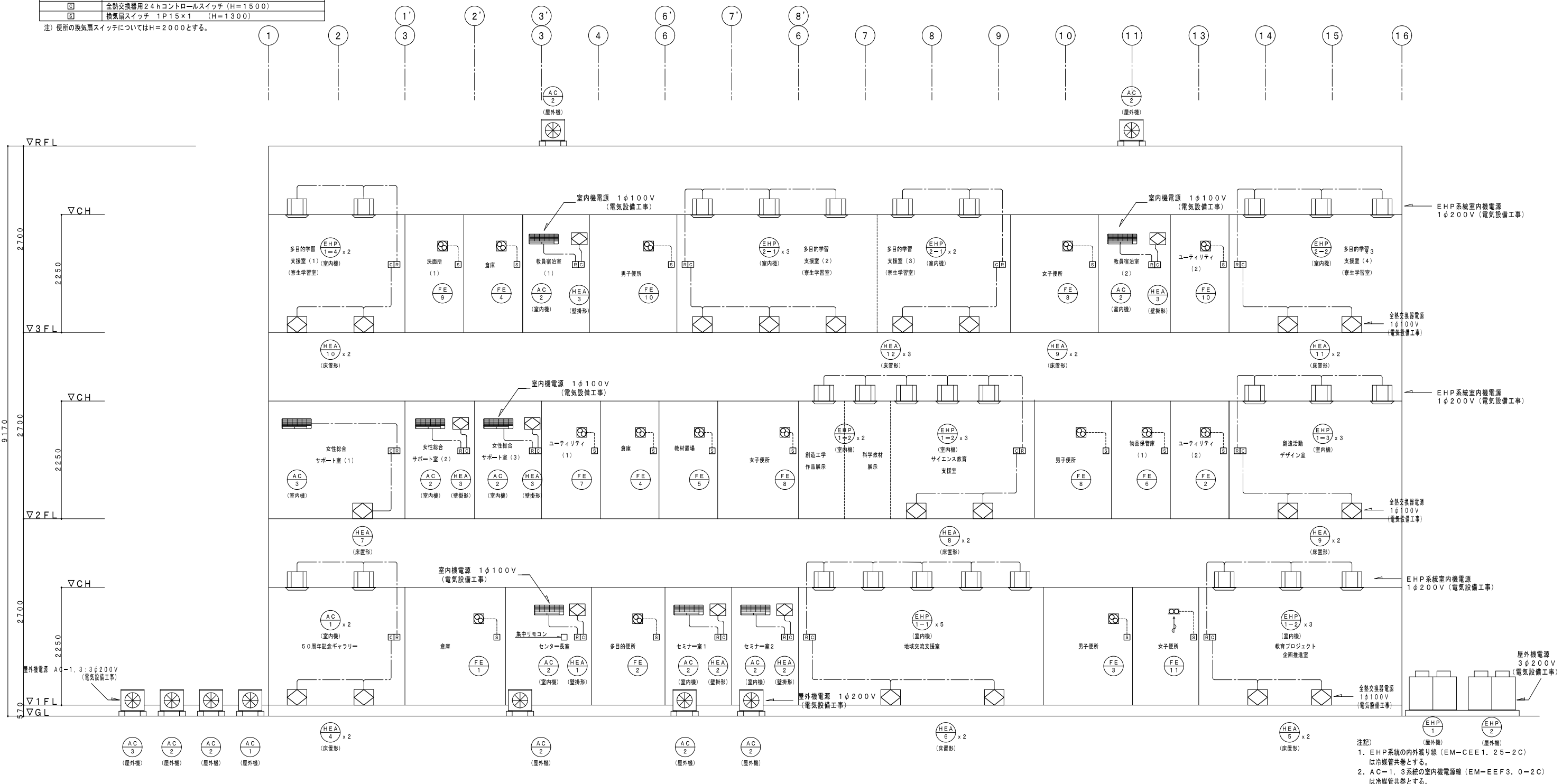
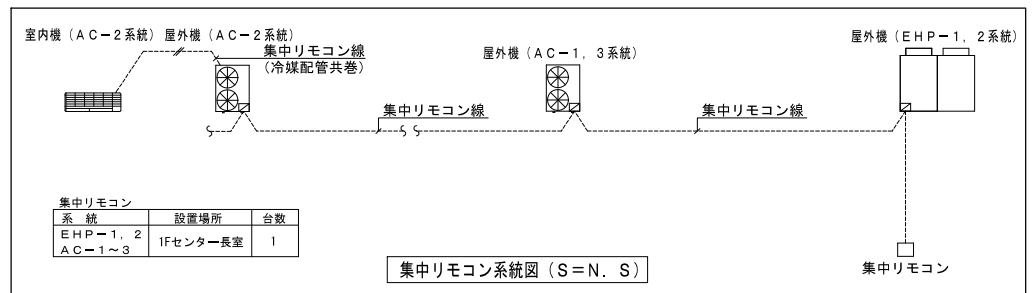
設計業務名	鈴鹿工業高専学生支援センター改修設備設計業務
工事名称	鈴鹿工業高専学生支援センター改修機械設備工事

図面名称	改修後・前 換気設備3階ダクト平面図
------	--------------------

縮尺	A1:1/100 A3:1/200
日付	平成25年9月
図面番号	M-14
通し番号	No. 17

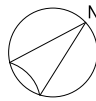
記号	名称
-----	空調機リモコン線、全熱交換器リモコン線 (EM-CES1. 25-2C)
-----	AC系統室内機、屋外機電源線 (EM-EEF2. 0-3C)
-----	換気扇用配線 (EM-EEF1. 6-2C)
	室内機
	全熱交換器
	換気扇
	天井扇
	空調機リモコン (H=1500)
	全熱交換器用24hコントロールスイッチ (H=1500)
	換気扇スイッチ 1P15x1 (H=1300)

注) 便所の換気扇スイッチについてはH=2000とする。



- 注記)
- EHP系統の内外渡り線 (EM-CES1. 25-2C) は冷媒管共巻とする。
 - AC-1, 3系統の室内機電源線 (EM-EEF3. 0-2C) は冷媒管共巻とする。
 - AC-2系統の屋外機電源線 (EM-EEF3. 0-2C) は冷媒管共巻とする。
 - 冷媒配管口径は参考値とする。

 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15316号 神奈川県横浜市西区平沼1-39-3 三石3rdビル406号	鈴鹿工業高等専門学校 事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 係員	設計業務名 鈴鹿工業高等専学生支援センター改修設備設計業務 工事名称 鈴鹿工業高等専学生支援センター改修機械設備工事	図面名称 自動制御設備系統図	縮尺 -	日付 平成25年9月 図面番号 M-15 通し番号 No. 18
	監修 図面				



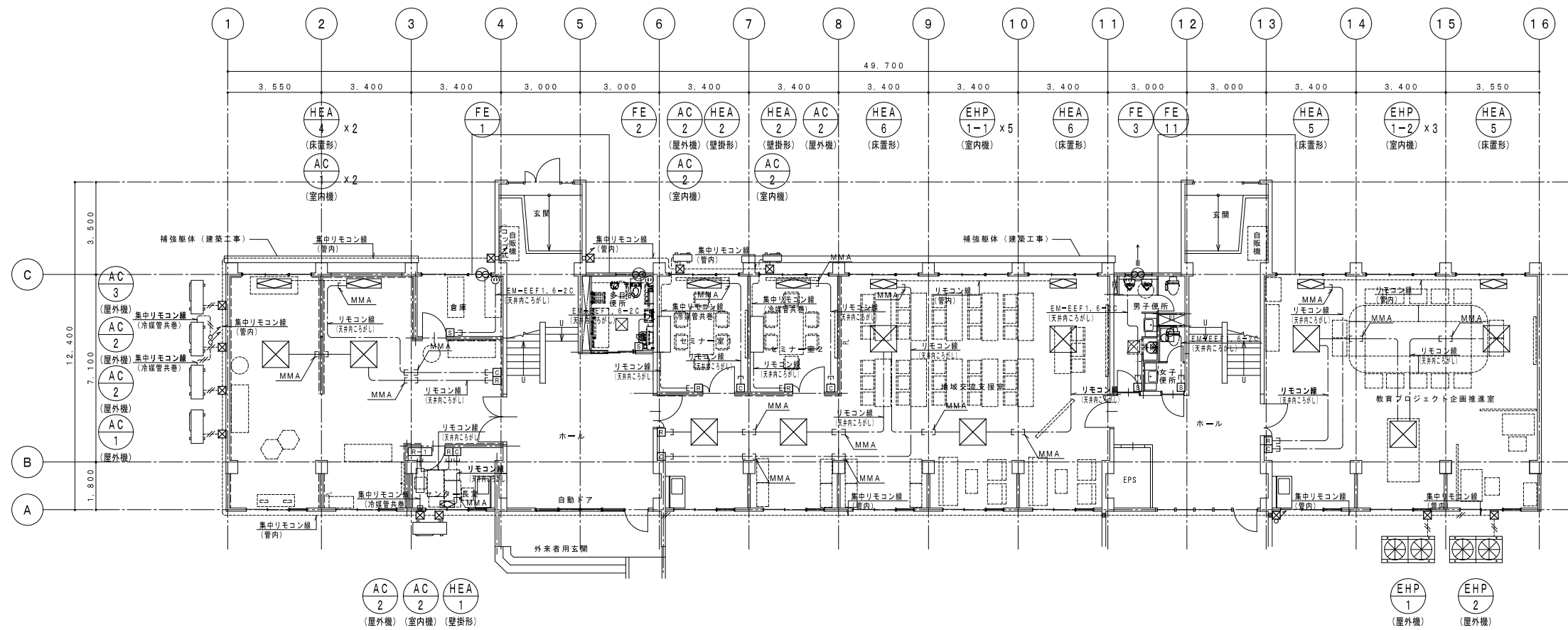
※平面図内配管配線

記号	名称	配線	配管	接続部
⊙EHP1 (屋外機)	パッケージ形空調和機	集中リモコン配線用配管	G (28)	F2 (24)
⊙EHP2 (屋外機)	パッケージ形空調和機	集中リモコン配線用配管	G (28)	F2 (24)
⊙AC1 (屋外機)	パッケージ形空調和機	集中リモコン配線用配管	G (28)	F2 (24)
⊙AC2 (屋外機)	パッケージ形空調和機	集中リモコン配線用配管	G (28)	F2 (24)
⊙AC3 (屋外機)	パッケージ形空調和機	集中リモコン配線用配管	G (28)	F2 (24)

凡例

記号	名称
—	EM-CEES1.25-2C (天井内コログラン)
---	EM-CEES1.25-2C (管内 (屋内: MMA 屋外: G22))
---	EM-CEES1.25-2C x 2 (管内 (G28))
---	壁立上部 PF (16)
⊗	室内機
⊠	全熱交換器
⊠	空調機集中リモコン (H=1500)
⊠	空調機リモコン (H=1500)
⊠	全熱交換器用24hコントロールスイッチ (H=1300)
⊠	換気扇スイッチ 1P15x1 (H=1300)
⊠	換気扇用コンセント (電気設備工事)
⊠	プルボックス (150x150x100) 溶融亜鉛防水型
---	貫通処理

注1) 便所の換気扇スイッチについてはH=2000とする。
 注2) 露出部の全熱交換器のリモコン線は管内とする。
 注3) 内外連絡線及び集中リモコン線については冷媒管共巻とする。

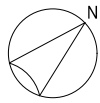


改修 1階平面図 (S=1/100)

注記

1. EHP系統の内外連絡線は冷媒管共巻とする。
2. G管は溶融亜鉛メッキ管とする。
3. F2はビニル被覆付防水とする。
4. リモコン配線用配管には呼び線を挿入する。

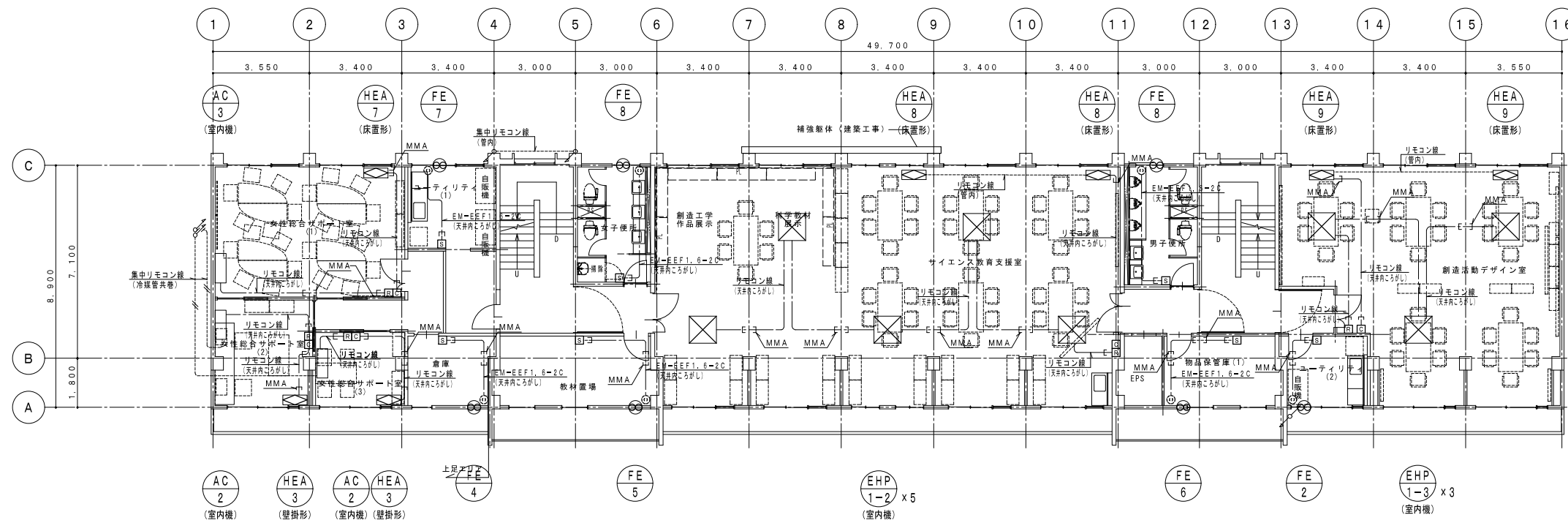
<p>株式会社 二十一設計 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15316号</p>	<p>神奈川県横浜市西区平沼1-39-3 三石3rdF 46階</p>	<p>鈴鹿工業高等専門学校 事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 係員</p>	<p>設計業務名 鈴鹿工業高等専門学校支援センター改修設備設計業務</p>	<p>図面名称 自動制御設備 1階平面図</p>	<p>縮尺 A1:1/100 A3:1/200</p>	<p>日付 平成25年9月</p>
		<p>鈴鹿工業高等専門学校 事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 係員</p>	<p>工事名称 鈴鹿工業高等専門学校支援センター改修機械設備工事</p>	<p>図面番号 M-16</p>	<p>通し番号 No. 19</p>	



凡例

記号	名称
EM-CEES1.25-2C	(天井内コロガシ)
EM-CEES1.25-2C	(管内 (屋内: MMA 屋外: G22))
EM-CEES1.25-2Cx2	(管内 (G22))
壁立上部 PF (16)	
室内機	
全熱交換器	
R-1	空調機集中リモコン (H=1500)
空調機リモコン	(H=1500)
全熱交換器用24hコントロールスイッチ	(H=1300)
換気扇スイッチ 1P15x1	(H=1300)
換気扇用コンセント	(電気設備工事)
フルボックス (150x150x100)	溶融亜鉛防水型
貫通処理	

注1) 便所の換気扇スイッチについてはH=2000とする。
 注2) 露出部の全熱交換器のリモコン線は管内とする。
 注3) 内外連絡線及び集中リモコン線については冷媒管共巻とする。

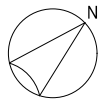


改修 2階平面図 (S=1/100)

注記

1. EHP系統の内外連絡線は冷媒管共巻とする。
2. G管は溶融亜鉛メッキ管とする。
3. リモコン配線用配管には呼び線を挿入する。

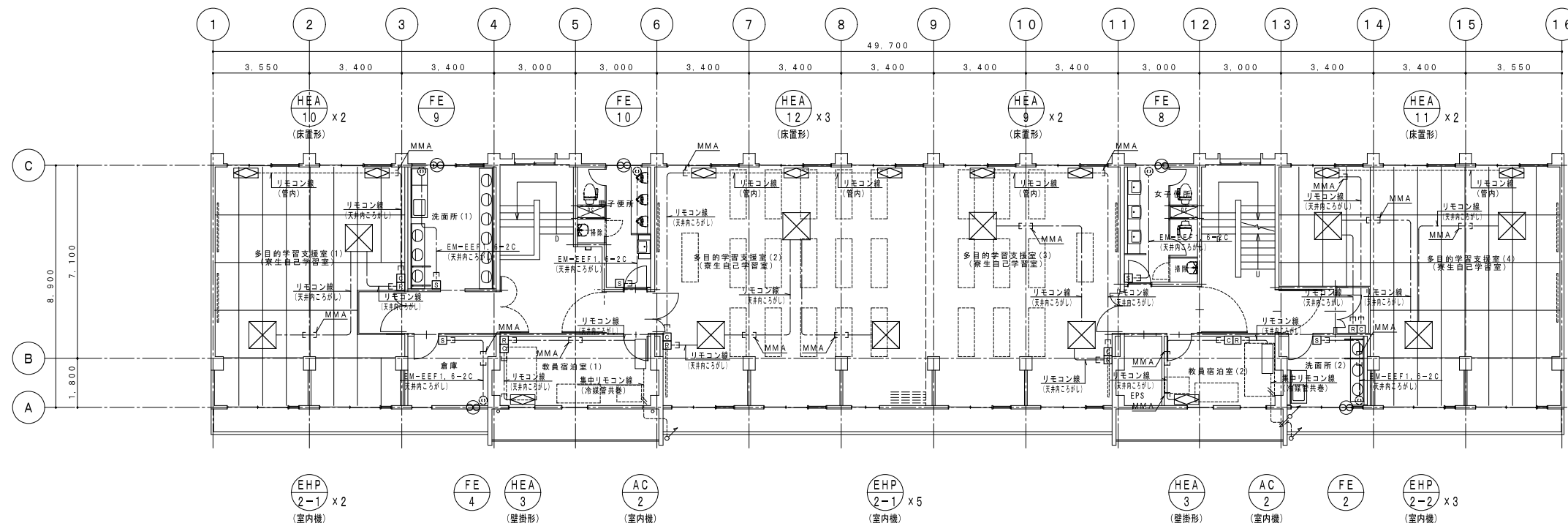
<p>株式会社 二十一設計 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15316号</p>	<p>神奈川県横浜市西区平沼1-39-3 三石302号 406号</p>	<p>鈴鹿工業高等専門学校</p>	<p>設計業務名</p>	<p>図面名称</p>	<p>縮尺</p>	<p>日付</p>
		<p>事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 係員</p>	<p>鈴鹿工業高等専学生支援センター改修設備設計業務</p>	<p>自動制御設備 2階平面図</p>	<p>A1:1/100 A3:1/200</p>	<p>平成25年9月</p>
<p>監修 製図</p>		<p>工事名称</p>	<p>鈴鹿工業高等専学生支援センター改修機械設備工事</p>	<p>図面番号</p>	<p>M-17</p>	<p>通し番号</p>
				<p>No. 20</p>		



凡例

記号	名称
---	EM-C EES 1. 25-2C (天井内コログシ)
---	EM-C EES 1. 25-2C (管内 (屋内: MMA 屋外: G 2 2))
---	EM-C EES 1. 25-2C x 2 (管内 (G 2 8))
---	壁立上部 PF (16)
□	室内機
◇	全熱交換器
R-1	空調機集中リモコン (H=1500)
□	空調機リモコン (H=1500)
□	全熱交換器用24hコントロールスイッチ (H=1300)
□	換気扇スイッチ 1P 15x1 (H=1300)
⊕	換気扇用コンセント (電気設備工事)
⊕	フルボックス (150x150x100) 溶融亜鉛めっき型
---	貫通処理

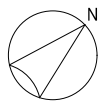
注1) 便所の換気扇スイッチについてはH=2000とする。
 注2) 露出部の全熱交換器のリモコン線は管内とする。
 注3) 内外連絡線及び集中リモコン線については冷媒管共巻とする。



改修 3階平面図 (S=1/100)

注記)
 1. EHP系統の内外連絡線は冷媒管共巻とする。
 2. G管は溶融亜鉛めっき管とする。
 3. リモコン配線用配管には呼び線を挿入する。

<p>株式会社 二十一設計 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15316号</p>	<p>神奈川県横浜市西区平沼1-39-3 三石307K 46階</p>	<p>鈴鹿工業高等専門学校</p>	<p>設計業務名 鈴鹿工業高等専門学校 改修設備設計業務</p>	<p>図面名称 自動制御設備 3階平面図</p>	<p>縮尺 A1:1/100 A3:1/200</p>	<p>日付 平成25年9月</p>
		<p>事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 係員</p>	<p>工事名称 鈴鹿工業高等専門学校 改修機械設備工事</p>	<p>図面番号 M-18</p>	<p>通し番号 No. 21</p>	

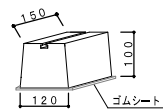
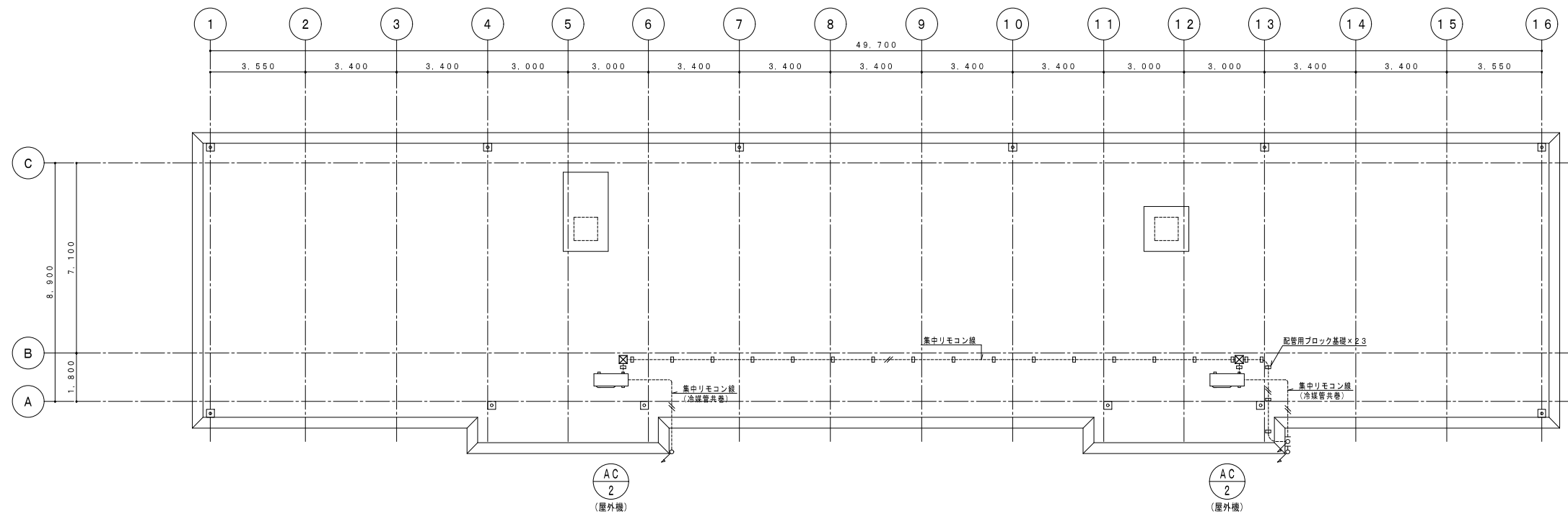


※平面図内配管配線

記号	名称	配線	配管	接続部
⊙ AC 2 (屋外機)	パッケージ形空調機	集中リモコン配線用配管	G (28)	F2 (24)

凡例

記号	名称
---	EM-CEES1.25-2C (天井内コロシア)
----	EM-CEES1.25-2C (管内 MMA 屋外: G22)
-----	EM-CEES1.25-2C x 2 (管内 G28)
.....	壁立上部 PF (16)
⊗	室内機
⊠	全熱交換器
[R-1]	空調機集中リモコン (H=1500)
[R-2]	空調機リモコン (H=1500)
[R-3]	全熱交換器用24hコントロールスイッチ (H=1300)
[R-4]	プルボックス (150x150x100) 溶融亜鉛防水型
.....	貫通処理



配管用ブロック基礎参考図 (S=N, S)

改修 3階平面図 (S=1/100)

注記

- G管は溶融亜鉛メッキ管とする。
- F2はビニル被覆付防水とする。
- リモコン配線用配管には呼び線を挿入する。

<p>株式会社 二十一設計 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15316号</p>	<p>神奈川県横浜市西区平沼1-39-3 三石3rdビル406号</p>	<p>鈴鹿工業高等専門学校</p> <table border="1"> <tr> <td>事務部長</td> <td>総務課長</td> <td>課長補佐</td> <td>施設係長</td> <td>係員</td> </tr> </table>	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	係員	<p>設計業務名 鈴鹿工業高等専学生支援センター改修設備設計業務</p>	<p>図面名称 自動制御設備屋上平面図</p>	<p>縮尺 A1:1/100 A3:1/200</p>	<p>日付 平成25年9月</p>
		事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	係員					
<p>監修 製図</p>	<p>工事名称 鈴鹿工業高等専学生支援センター改修機械設備工事</p>	<p>図面番号 M-19</p>	<p>通し番号 No. 22</p>								

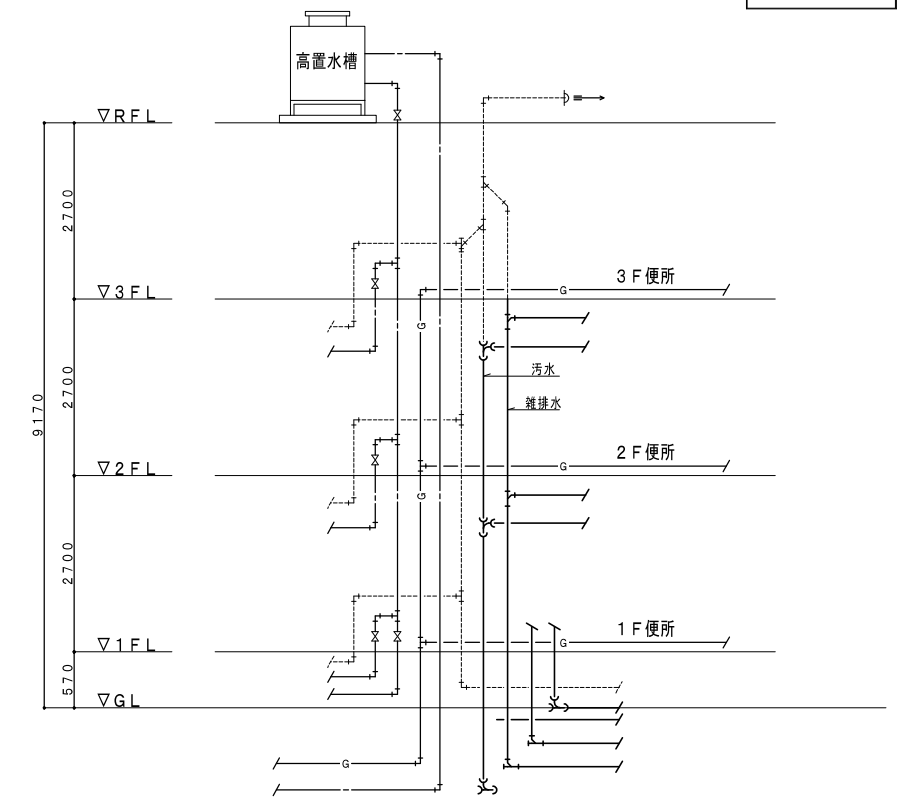
改修前

機器表 (撤去)

記号	機器名称	仕	様	台数	設置場所	備考
TWH-1	高置水槽	形 式 : FRP製		1	RF	
		外 形 寸 法 : 1600×1600×1500H				
		容 量 : 3000L				

器具表 (撤去)

記号	名称	個 数						合 計	付 属 品
		1階南側	1階北側	2階南側	2階北側	3階南側	3階北側		
C-375VF	和風大便器	2	2	2	2		8	K150AC T82C32 F53TWA75 TS116AY A21	
C-75VF	和風大便器					2	4	T80B32 T82A38 T63FWA75 TS116A A21	
U-23	小便器	2	2	2	2	2	12	K60R T62-16 T64BW Y22 35 A21	
L-5D	手洗器	1	1	1	1	1	6	K20S K4A K22P Y22 35	
S-28E	ハイタンク					2	4	TB27C 13 T55C T55D T55F T161 T156AB T56H T156C T156H T155A	
TS-119BS3	鏡 (建築工事)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(30)	368x455x6 TS119DS	
K-12B13	胴長水栓	7	7	6	6	6	38		



改修前 系統図

機器表 (新設)

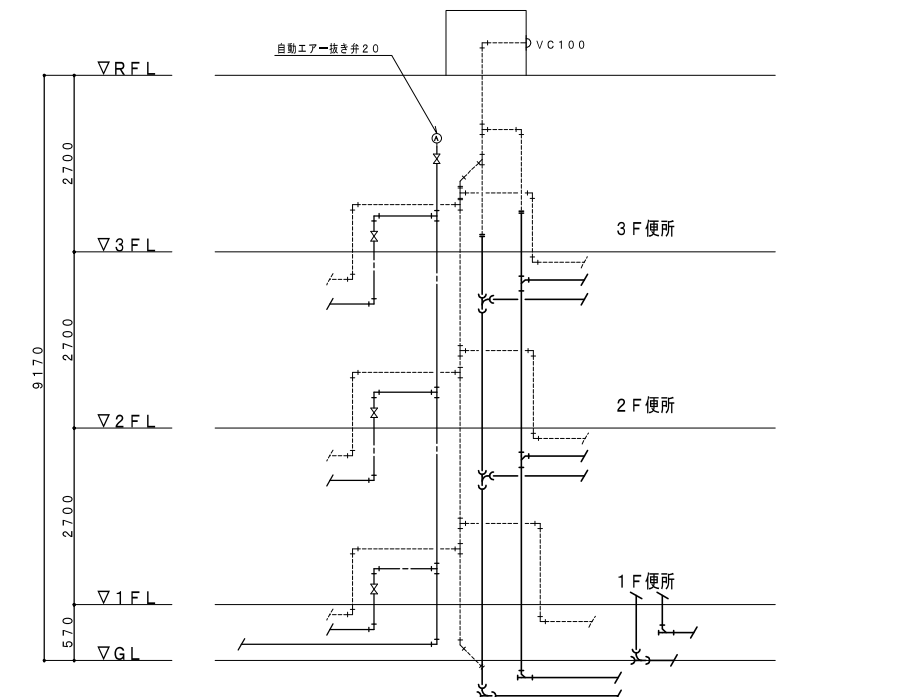
記号	機器名称	仕	様	台数	設置場所	電 気 容 量			備考
						Φ	V	kW	
P-1	加圧給水ポンプユニット	形 式 : 推定末端圧力一定給水ユニット (インバータ方式交互運転)		1		3	200	2.2	
		給水量: 290l/min							
		全揚程: 26mAq							
		口径: 50×40							
		付属品: 標準付属品共、基礎ボルトSUS							
WHE-1	電気式給湯器	形 式 : 電気式床置型		7	1Fセンター長室	1	100	1.1	
		貯湯量: 20L			1F地域交流支援室				
		付属品: ブローキャッチャー、他標準付属品			1F教育プロジェクト企画推進室				
					2Fユースティリティ (1)				
					2Fサイエンス教育支援室				
					3F洗面所 (1)				
					3F洗面所 (2)				

器具表 (新設)

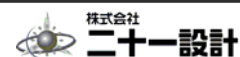
記号 (参考)	名称	個 数								合 計	付 属 品 (TOTO参考品番)
		1階多目的便所	1階男子便所	1階女子便所	2階男子便所	2階女子便所	3階男子便所	3階女子便所	3階洗面所 (1)		
CFS469HNS	洋風大便器		1		2	2	1	2		8	TCF584R TH343R HP430-7 YH702 TCF4721V81PA TEF75LN TES27TE TH500-32 T1122 YH702 HP430-7 TCA88 TS40L TH484V3 T82CR32 LSL870AP
C480AN	洋風大便器 (車椅子対応)	1		1						2	
UFS800CE	壁掛け小便器		2		3			3		8	
SK22A	バック付掃除用流し		1			1	1	1		4	T9RJ T37SGEP T23AE20 TK22
L350C	洗面器		1	1	2	3	1	3		11	TEN41A T7PW1
L582CS	洗面器								9	3	TEN41A T7PW1 TL516GR
L270CM	洗面器 (車椅子対応)	1								1	TEN41A T7PW1 TS126AR TL220D
LSE570AP	手洗器 (車椅子対応)	1								1	
UAS73LDB	オストメイト	1								1	電気温水器 UTR138S

注記) 1. 洗面器のカウンターは建築工事とする。

改修後



改修後 系統図



神奈川県横浜市西区平沼1-39-3
三石3丁目46階

一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15316号

鈴鹿工業高等専門学校

事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	係 員
------	------	------	------	-----

設計業務名

鈴鹿工業高専学生支援センター改修設備設計業務

工事名称

鈴鹿工業高専学生支援センター改修機械設備工事

図面名称

改修後・前 機器表・衛生器具表・配管系統図

縮 尺

-

日付

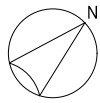
平成25年9月

図面番号

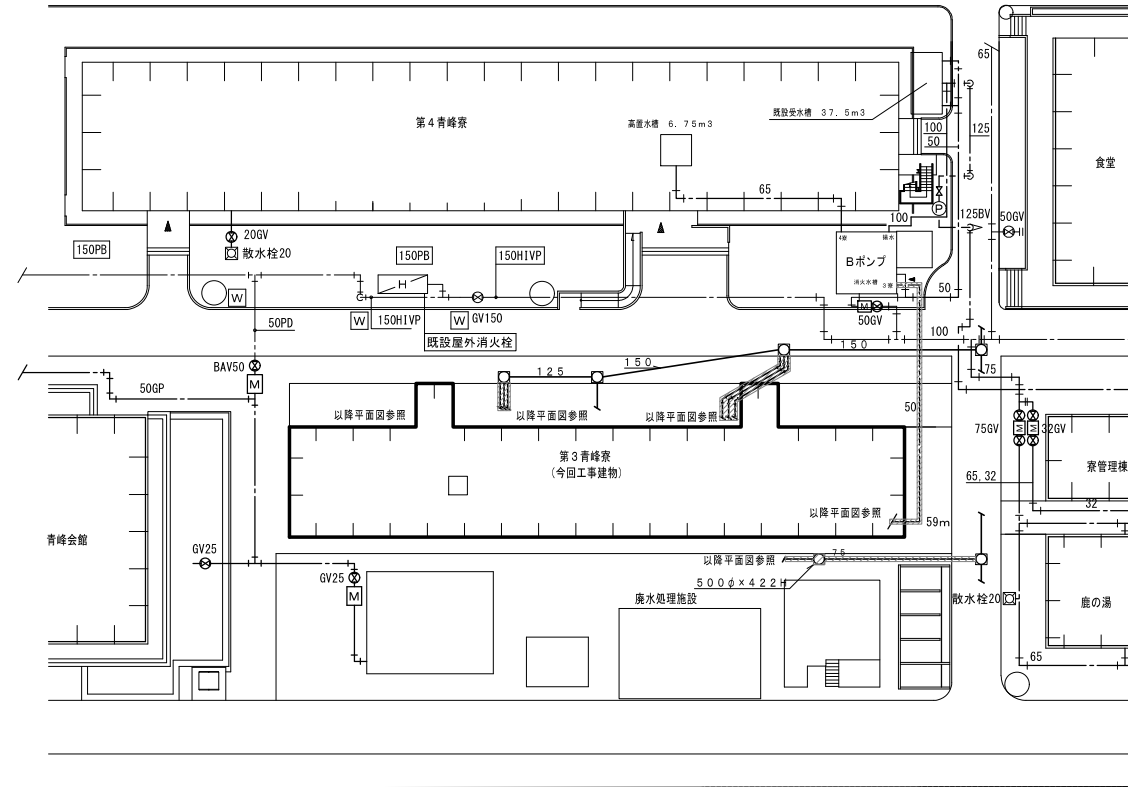
M-20

通し番号

No. 23

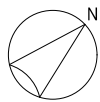


改修前

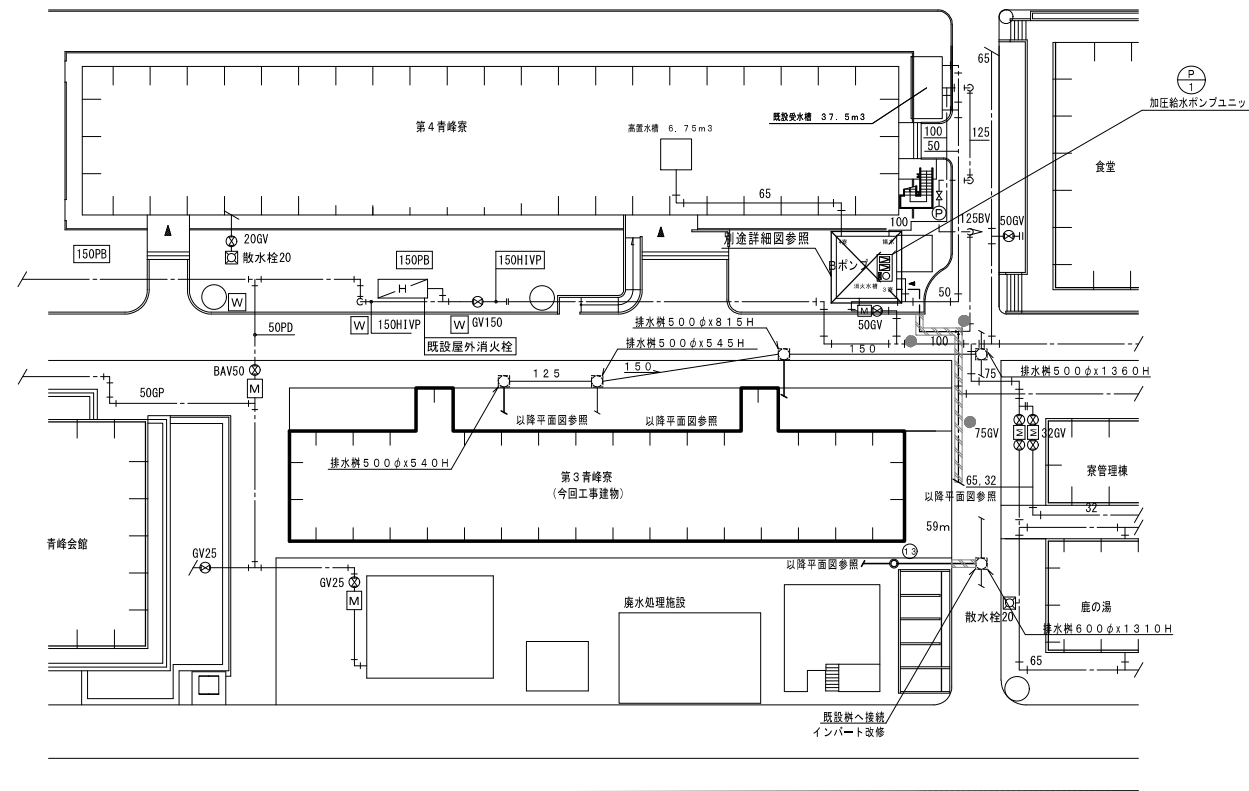


既設 外構図 (S=1/300)

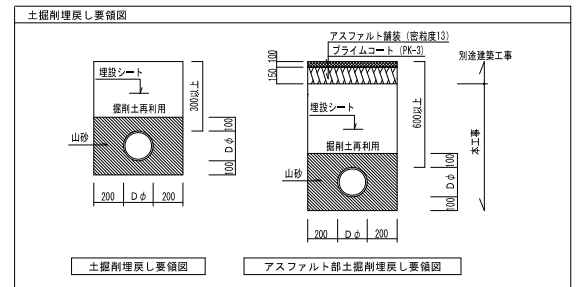
注記)
1. は撤去を示す。



改修後



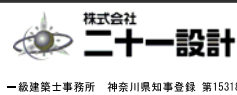
改修 外構図 (S=1/300)



樹リスト

樹 No	名称	樹寸法	仕様	樹深さ	差
③	汚水樹	小口径塩ビ樹 200φ	90L 100-200	GL-420	樹脂製

注記)
1. は新設を示す。
2. は既設を示す。
3. 特記なき配管は埋設配管とする。
4. はアスファルト舗装解体・復旧を示す。
5. ● は埋設機 (鉄製) を示す。



神奈川県横浜市西区平沼1-39-3
三石3a7c 46階

一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15316号

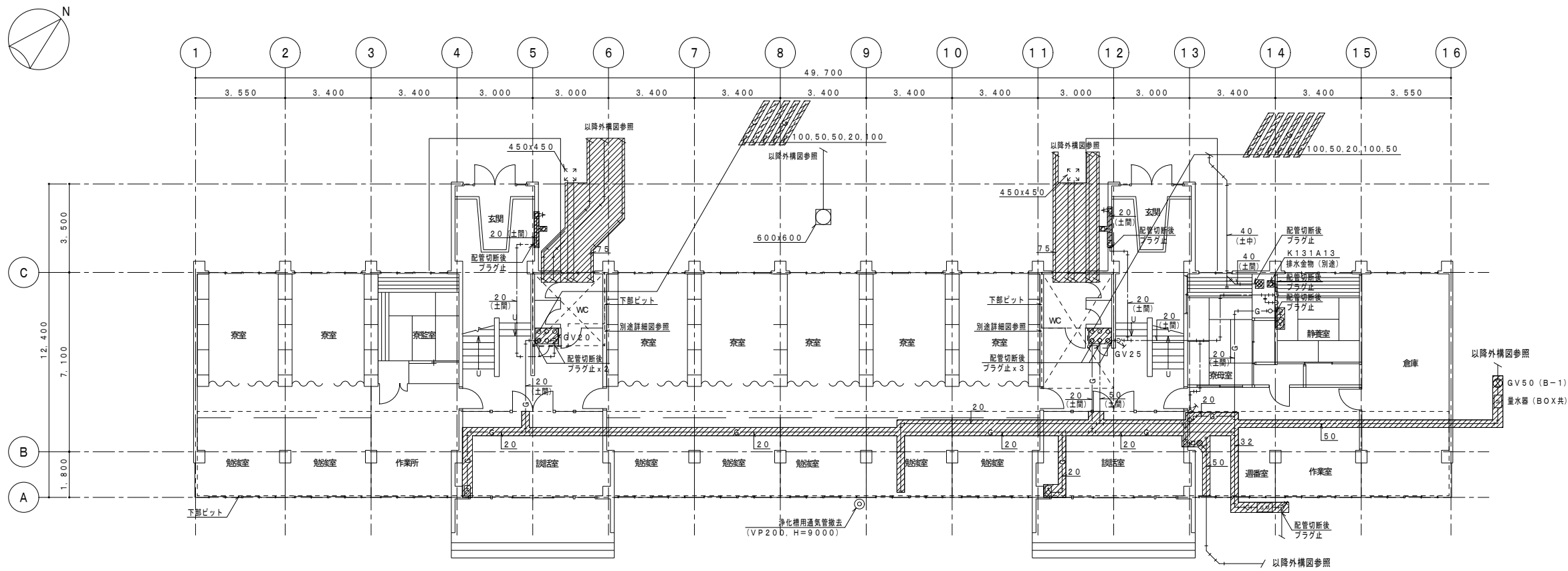
鈴鹿工業高等専門学校				
事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	係員

設計業務名
鈴鹿工業高等専学生支援センター改修設備設計業務
工事名称
鈴鹿工業高等専学生支援センター改修機械設備工事

図面名称
改修後・前 外構図

縮尺
A1:1/300
A3:1/600
日付
平成25年9月
図面番号
M-21
通し番号
No. 24

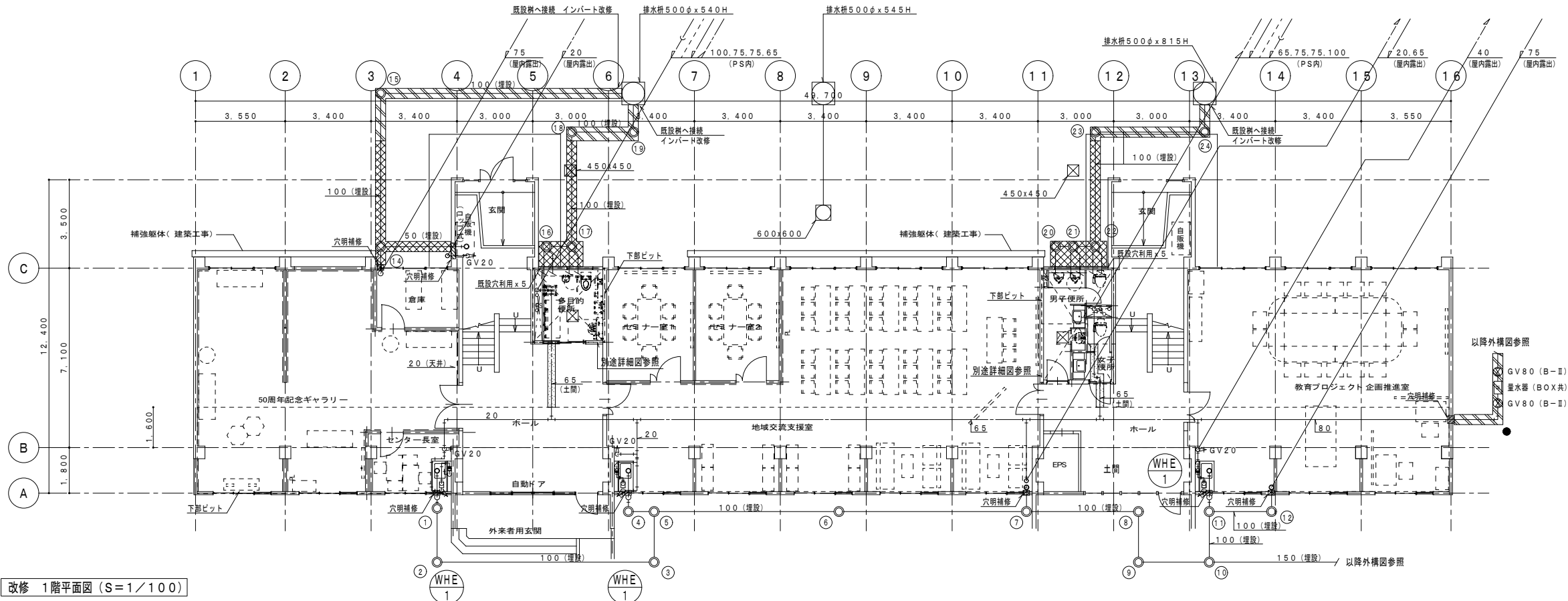
改修前



既設 1階平面図 (S=1/100)

- (注記)
1. 斜線は撤去を示す。
 2. 特記なき配管は床下ピット内配管とする。
 3. 撤去後の残置配管端部はプラグ止等の処理を施す。
 4. 撤去配管に付随する弁類は全て撤去する。
 5. 配管撤去後の壁穴はモルタル等で穴埋めを行う。
 6. 土間の部分は残置とする。

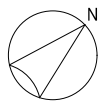
改修後



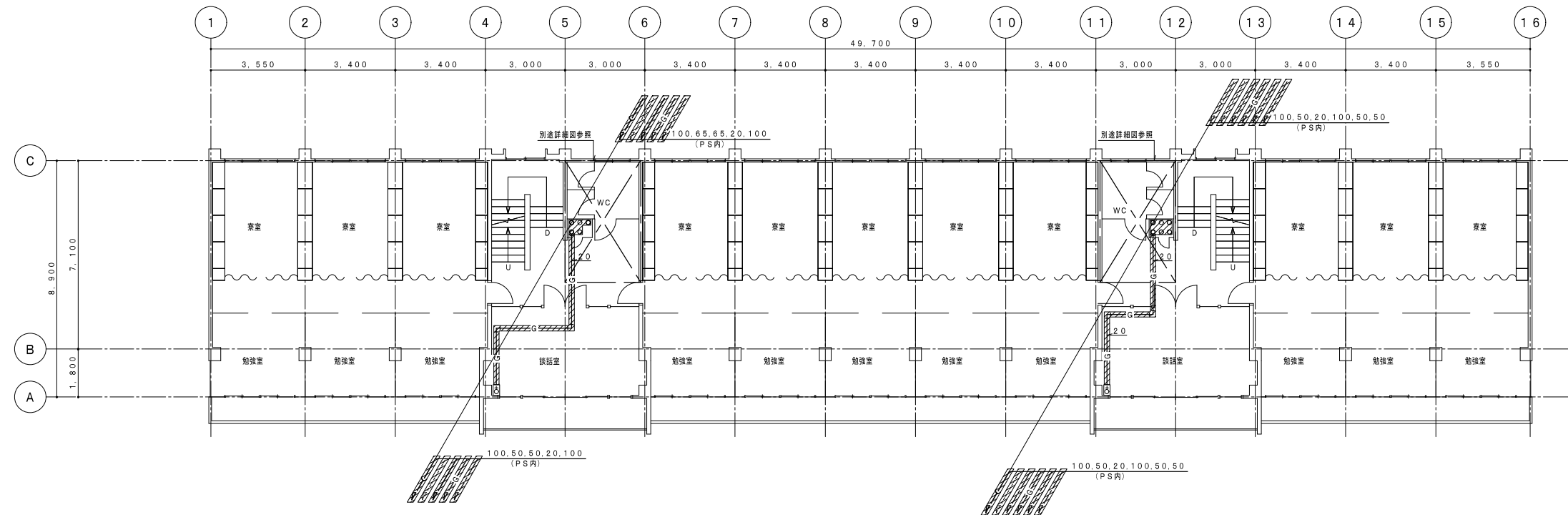
改修 1階平面図 (S=1/100)

樹 No	名称	樹寸法	仕様	樹深さ	蓋
①	汚水樹	小口径埋込樹 200φ	ST 100-200	GL-600	樹脂製
②	汚水樹	小口径埋込樹 200φ	90L 100-200	GL-640	樹脂製
③	汚水樹	小口径埋込樹 200φ	90L 100-200	GL-760	樹脂製
④	汚水樹	小口径埋込樹 200φ	90L 100-200	GL-770	樹脂製
⑤	汚水樹	小口径埋込樹 200φ	90Y 100-200	GL-790	樹脂製
⑥	汚水樹	小口径埋込樹 200φ	ST 100-200	GL-880	樹脂製
⑦	汚水樹	小口径埋込樹 200φ	90Y 100-200	GL-970	樹脂製
⑧	汚水樹	小口径埋込樹 200φ	90L 100-200	GL-1030	樹脂製
⑨	汚水樹	小口径埋込樹 200φ	90L 100-200	GL-1060	樹脂製
⑩	汚水樹	小口径埋込樹 200φ	90L 100-200	GL-1100	樹脂製
⑪	汚水樹	小口径埋込樹 200φ	90Y 100-200	GL-1070	樹脂製
⑫	汚水樹	小口径埋込樹 200φ	90L 100-200	GL-1030	樹脂製
⑬	汚水樹	小口径埋込樹 200φ	90Y 100-200	GL-350	樹脂製
⑭	汚水樹	小口径埋込樹 200φ	90L 100-200	GL-420	樹脂製
⑮	汚水樹	小口径埋込樹 200φ	45Y 100-200	GL-350	樹脂製
⑯	汚水樹	小口径埋込樹 200φ	YWS 100-200	GL-370	樹脂製
⑰	汚水樹	小口径埋込樹 200φ	90Y 100-200	GL-450	樹脂製
⑱	汚水樹	小口径埋込樹 200φ	90L 100-200	GL-480	樹脂製
⑲	汚水樹	小口径埋込樹 200φ	90L 100-200	GL-350	樹脂製
⑳	汚水樹	小口径埋込樹 200φ	90YW100-200	GL-370	樹脂製
㉑	汚水樹	小口径埋込樹 200φ	YWS 100-200	GL-390	樹脂製
㉒	汚水樹	小口径埋込樹 200φ	90L 100-200	GL-440	樹脂製
㉓	汚水樹	小口径埋込樹 200φ	90L 100-200	GL-500	樹脂製

- (注記)
1. 〃は新設を示す。
 2. 〃は既設を示す。
 3. 〃は既設配管接続を示す。
 4. 特記なき配管は床下ピット内配管とする。
 5. 斜線は穴明補修を示す。
 6. 斜線は床はつり部を示す。
 7. 斜線はコンクリート舗装撤去・復旧を示す。
 8. 斜線はアスファルト舗装撤去・復旧を示す。
 9. ●は埋設標(鉄製)を示す。



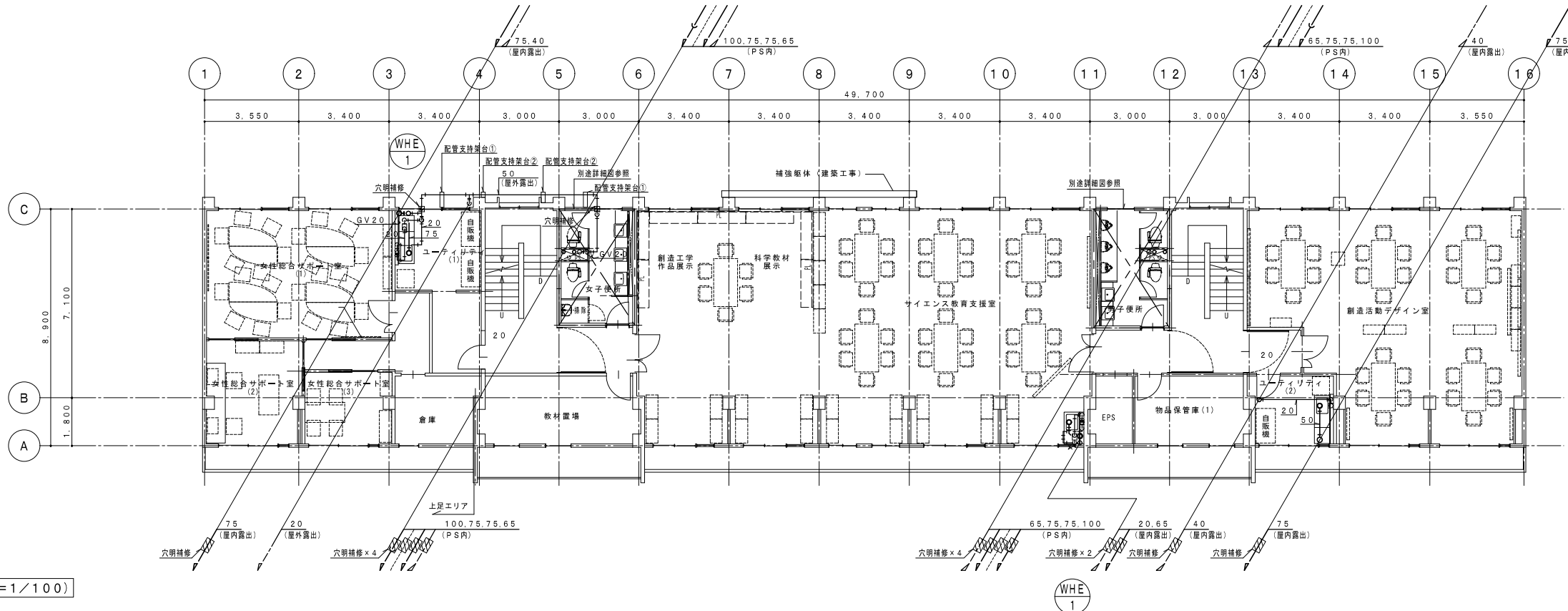
改修前



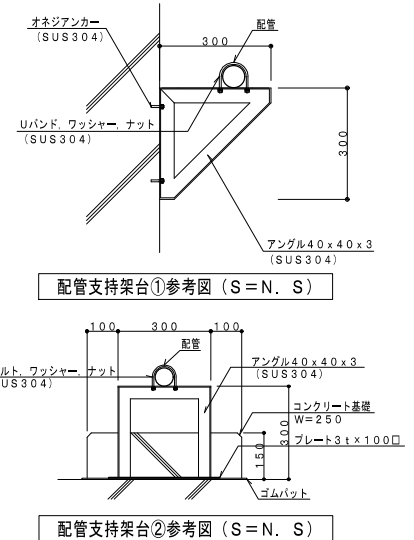
既設 2階平面図 (S=1/100)

- (注記)
1. (斜線) は撤去を示す。
 2. 特記なき配管は床ビット内配管とする。
 3. 撤去後の残置配管端部はプラグ止等の処置を施す。
 4. 撤去配管に付随する弁類は全て撤去する。
 5. 配管撤去後の壁穴はモルタル等で穴埋めを行う。

改修後

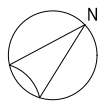


改修 2階平面図 (S=1/100)

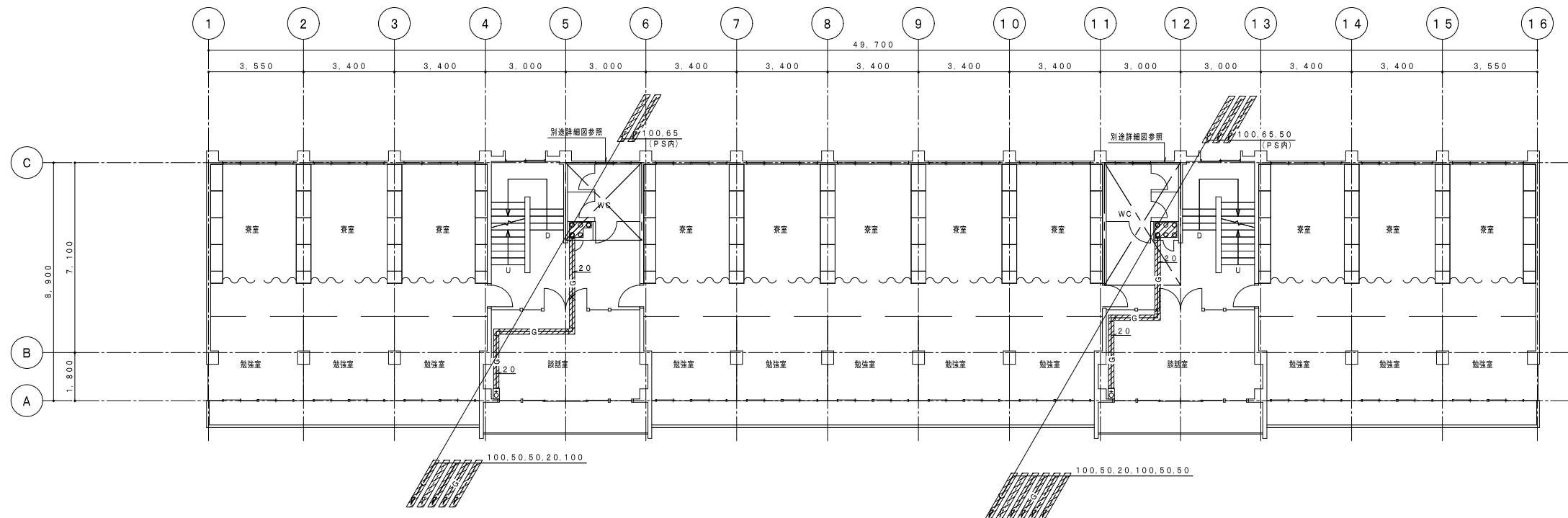


- (注記)
1. — は新設を示す。
 2. - - - は既設を示す。
 3. - - - は既設配管接続を示す。
 4. 特記なき配管は1F天井内配管とする。
 5. (斜線) は穴埋めを示す。

<p>株式会社 二十一設計 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15316号</p>	<p>神奈川県横浜市西区平沼1-39-3 三石3丁目46階</p>	<p>事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 係員</p>	<p>設計業務名 鈴鹿工業高等専門学校 改修設備設計業務</p>	<p>図面名称 改修・前 衛生設備2階配管平面図</p>	<p>縮尺 A1:1/100 A3:1/200</p>	<p>日付 平成25年9月</p>
		<p>鈴鹿工業高等専門学校 施設係長 係員</p>	<p>工事名称 鈴鹿工業高等専門学校 改修機械設備工事</p>	<p>図面番号 M-23</p>	<p>通し番号 No. 26</p>	



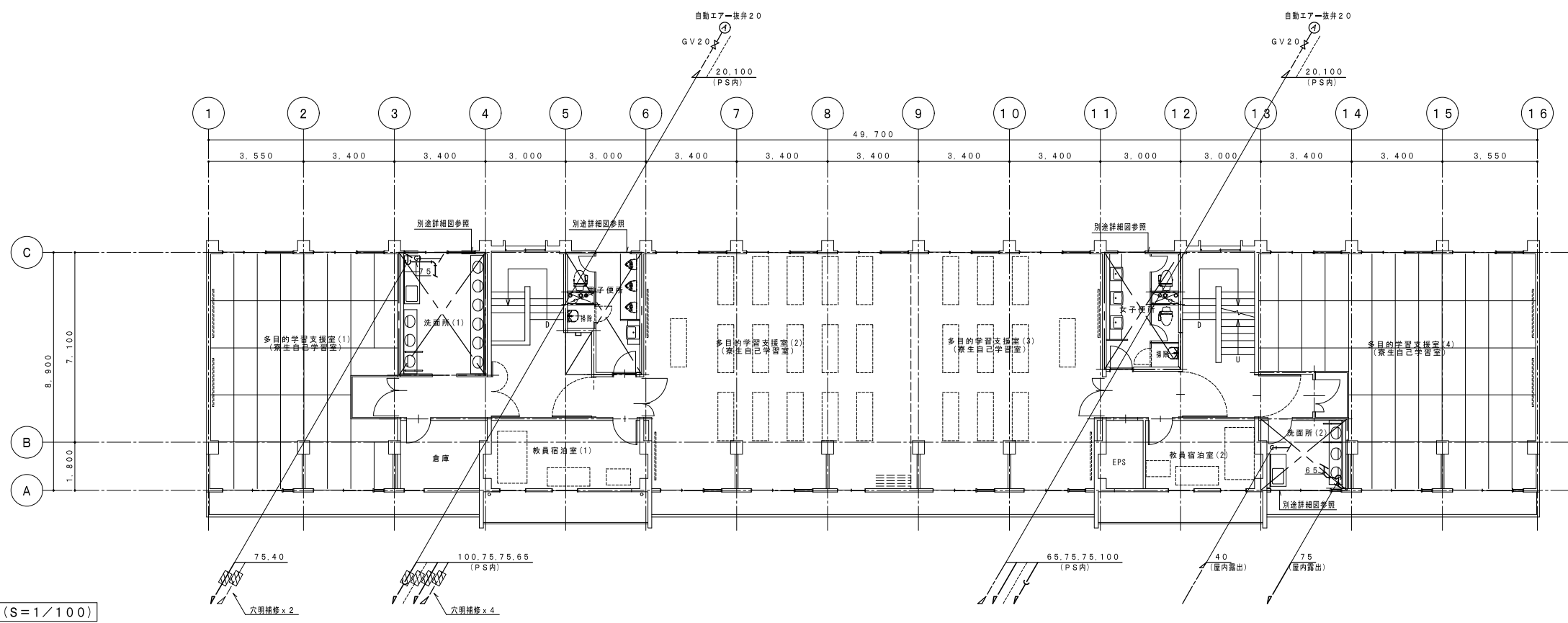
改修前



既設 3階平面図 (S=1/100)

- (注記)
1. は撤去を示す。
 2. 特記なき配管は床ビット内配管とする。
 3. 撤去後の残置配管残部はプラグ止等の処置を施す。
 4. 撤去配管に付随する弁類は全て撤去する。
 5. 配管撤去後の壁穴はモルタル等で穴埋めを行う。

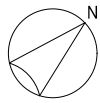
改修後



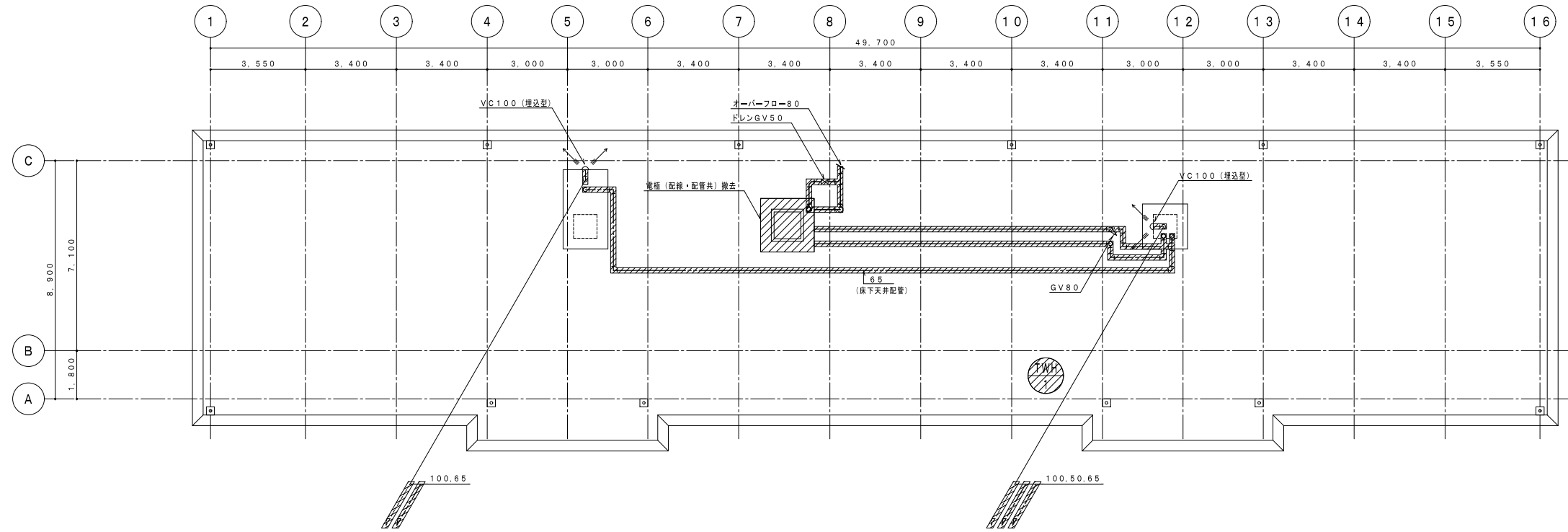
改修 3階平面図 (S=1/100)

- (注記)
1. は新設を示す。
 2. は既設を示す。
 3. は既設配管接続を示す。
 4. 特記なき配管は2F天井内配管とする。
 5. は穴明補修を示す。

 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15316号 神奈川県横浜市西区平沼1-39-3 三石3rdFL 46階	鈴鹿工業高等専門学校 事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 係員		設計業務名 鈴鹿工業高等専学生支援センター改修設備設計業務	図面名称 改修後・前 衛生設備3階配管平面図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	日付 平成25年9月 図面番号 M-24 通し番号 No. 27
	監修 図面	工事名称 鈴鹿工業高等専学生支援センター改修機械設備工事				



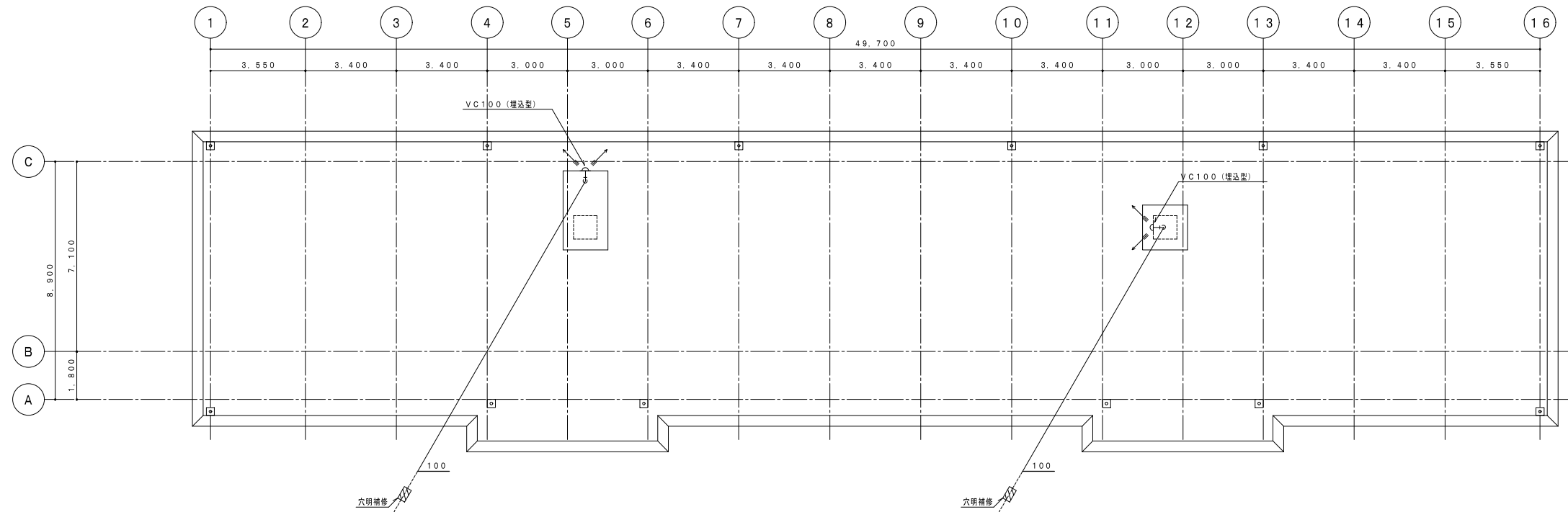
改修前



既設 R階平面図 (S=1/100)

- (注記)
1. は撤去を示す。
 2. 特記なき配管は屋外露出配管とする。
 3. 撤去後の残置配管端部はプラグ止等の処置を施す。
 4. 撤去配管に付随する弁類は全て撤去する。
 5. 配管撤去後の壁穴はモルタル等で穴埋めを行う。

改修後



改修 R階平面図 (S=1/100)

- (注記)
1. は新設を示す。
 2. は既設を示す。
 3. は既設配管接続を示す。
 4. 特記なき配管はP S内配管とする。
 5. は穴明補修を示す。



一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15316号

神奈川県横浜市西区平沼1-39-3
三石3rdFL 46階

監修 図面

鈴鹿工業高等専門学校

事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	係員
------	------	------	------	----

設計業務名

鈴鹿工業高専学生支援センター改修設備設計業務

工事名称

鈴鹿工業高専学生支援センター改修機械設備工事

図面名称

改修後・前 衛生設備屋上配管平面図

縮尺

A1:1/100
A3:1/200

日付

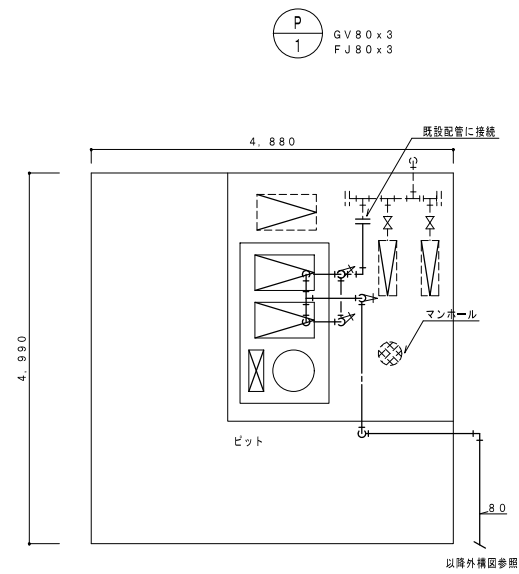
平成25年9月

図面番号

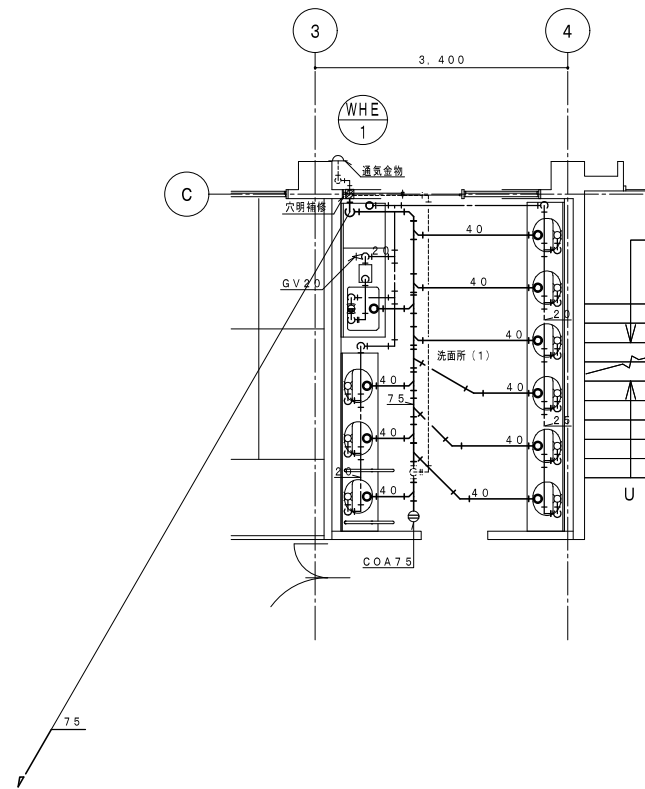
M-25

通し番号

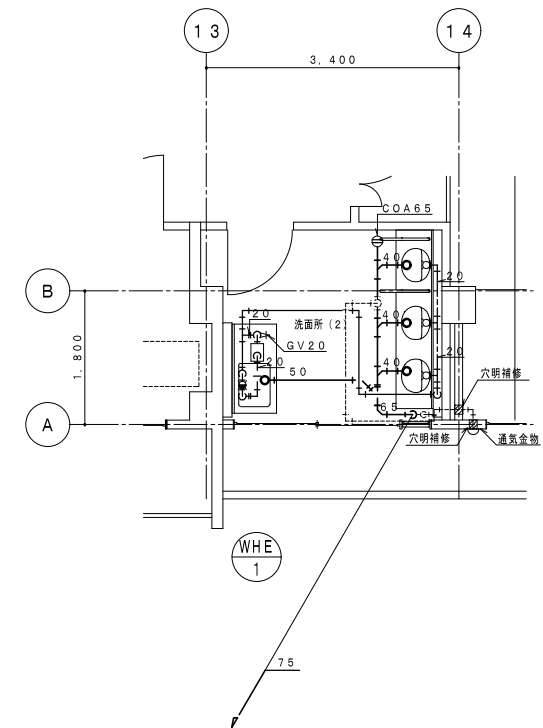
No. 28



改修 Bポンプ室平面詳細図 (S=1/50)

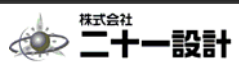


改修 3階洗面所(1)平面詳細図 (S=1/50)



改修 3階洗面所(2)平面詳細図 (S=1/50)

- 注記)
1. 特記なき配管は床下配管とする。
 2. は穴明補修を示す。

 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第15316号 神奈川県横浜市西区平沼1-39-3 三石307K 40階	鈴鹿工業高等専門学校 事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 係員	設計業務名 鈴鹿工業高専学生支援センター改修設備設計業務	図面名称 改修後 衛生設備ポンプ室・洗面所(1)・(2)配管詳細図	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	日付 平成25年9月
		工事名称 鈴鹿工業高専学生支援センター改修機械設備工事	図面番号 M-26	通し番号 No. 29	

